

●徵兵令

第一章 總則

一 條 日本帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス

第二條 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役補充兵役及國民兵役トス

第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス

現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニシテ滿二十歳ニ至リタル者之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四箇年海軍ハ三箇年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス

第四條 後備兵役ハ五箇年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

第五條 補充兵役ハ陸軍ニ在テハ第一補充兵役第二補充兵役トシ第一補充兵役ハ七箇年四箇月ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服ス第二補充兵役ハ一箇年四箇月ニシテ其年所要ノ第一補充兵員ニ超過スル者之ニ服ス又海軍ニ在テハ一箇年ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者之ニ服ス

第六條 國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス

第一國民兵役ハ後備兵役及第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服シ第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役又第一國民兵役ニ在ラサル者之ニ服ス

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ノ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スコトアル可シ

第八條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サズ

第二章 服役

第九條 陸軍現役兵及補充兵ハ每年所要ノ人員ニ應ジ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ歩兵騎兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

海軍現役兵及補充兵ハ每年所要ノ人員ニ應ジ沿海地方及島嶼ノ壯丁ヲ調査シ海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水夫火夫職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ服役スル者ハ本令ノ限ニ在ラス

警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁(近衛師團ニ編入スル者ヲ除ク)ハ總テ之ヲ警備隊ニ充テ其地ニ於テ服役セシム但在營期限ハ一箇年以内トス

第十條 雜卒ノ現役限期ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第十一條 抽籤番號ノ順序ニ由リ其年ノ補充兵役所要員ニ超過スル者ハ國民兵役ニ服セシム

第十二條 二十歳ニ至ラスト雖モ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スルコトヲ得
第十三條 滿十七歳以上滿二十六歳以下ニシテ官立學校(小學科及選科等ノ別科ヲ除ク)府縣立師範學校若シクハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ニ同等以上ト認めタル學校若シクハ文部大臣ノ認可ヲ經タリ學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試験ニ及第シ服役中食料被服器具等ノ費用ヲ自辦シ豫備後備將校タル冀望ヲ有スル者ハ志願ニ由リ一箇年間陸軍現役

ニ服スルコトヲ得但費用ノ金額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ニハ其幾部ヲ官給スルコトアル可シ

一年志願兵ノ豫備役後備役年期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

滿十七歳以上滿二十六歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業證書ヲ所持シ官立公立小學校ノ教職ニ在ル者ハ六週間陸軍現役ニ服セシム其服役ニ關スル費用ハ官給トス

前項ノ現役ニ終リタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム

第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十六歳迄ニ其教職ヲ罷ムル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ更ニ二箇年間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役ニ服セシム但第一項ニ依リ一年志願兵志願スル者ハ此限ニ在ラス

第十四條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者ハ一年志願兵タルコトヲ許サス

第十五條 現役中殊ニ勤務ニ熟シ品行方正ナル者ハ歸休ヲ命スルコトアル可シ

第十六條 豫備兵後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度六十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ召集シ又ハ年一度簡閱點呼ヲ爲ス

第十七條 第一補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺ニ充テ又戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス但第一補充兵ヲ以テ現役兵ノ補缺ニ充ツルハ其服役ノ初年ニ限ル

第一補充兵ハ平常ニ在テ百五十日以内教育ノ爲メ之ヲ召集ス其他勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ

第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキ之ヲ召集ス

第十八條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限リ之ヲ召集ス

第三章 免役延期及猶豫

第十九條 兵役ヲ免スルハ癡疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照シ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル

第二十條 左ニ掲クル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ仍ホ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第一 體格完全且強壯ナルモ身幹未ダ定尺ニ滿タサル者

第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者

第二十一條 公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪ノ爲メ訊問若クハ拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十二條 徵集ニ應スルトキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セス

第二十三條 第十三條第一項ニ掲クル學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願ニ依リ滿二十六歳迄

徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十六歲迄ニ止ミ又ハ二十六歲ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス但第十一條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者及第十一條第三項ニ依リ服役スル者ハ此限ニ在ラス
外國ニ在ル者朝鮮國ニ在ル者ヲ除ク外ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ猶豫ス滿三十二歲迄ニ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集シ三十二歲ヲ過クル者ハ國民兵役ニ服セシム但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス
第二十四條 餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長助役及收入役ハ豫備兵後備兵ニ在ルト第一補充兵ニ在ルトヲ問ハス勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第四章 雜則

第二十五條 毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歲ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ又第二十三條第一項ニ當ル者ニシテ二十八歲迄ニ事故止ミ同條第二項ニ當ル者ニシテ三十二歲迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ外國寄留ノ爲メ徵集猶豫ヲ得タルモノ歸朝スルキハ三十日以内ニ書面ヲ以テ(戶主ニ非サル者ハ其戶主ヨリ)本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歲未滿ニシテ現役ニ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス

第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テスルモノトス

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵集ス

第二十八條 兵役ヲ免レンカ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潛匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵收ス

第二十九條 服役年期ノ計算ハ現役豫備役補充役及海軍後備役ニ在テハ各其役ニ就ク年ノ十二月一日「第十三條第三項ニ依リ服役スル者ノ現役服期ノ計算ハ別ニ勅令ヲ以テ規定スル月日ヨリ起算ス」ヨリ陸軍後備役ニ在テハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算ス但第七條ニ依リ延期シタルモノト雖服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者其刑期中ニ逃亡中ノ日數ハ現役年期ニ算入セス其豫備役年期ハ現役ヲ終ル年ヨリ起算シ陸軍ニ在テハ第六年目ノ三月三十一日迄海軍ニ在テハ第五年目ノ十一月三十一日迄トス但第十條ニ依リ現役年期ヲ短縮シタルモノハ其現役ヲ短縮シタル場合ニ於ケル豫備役年期ニ應シ本項ニ準シテ計算ス

豫備役後備役及補充役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第五章 罰則

第三十條 第二十五條ノ届出ヲ爲サ、ル者及正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ三箇以上三十箇以下ノ罰金ヲ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潛匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ

其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六章 附則

第三十二條 本令ハ明治二十二年一月ヨリ施行ス但第二十五條ノ届出期限ハ明治二十二年ニ限リ三月一日ヨリ同月十五日迄トス

第三十三條 本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ノ外及沖繩縣並東京府管下小笠原島ニハ漸ク以テ施行ス其時期區域及特ニ徵集ヲ免除シ若クハ猶豫ス可キモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 本令中市町村長トアルハ市制町村制ヲ實施スル迄ノ間戸長ノコトトス

第三十五條 現今陸軍豫備役ニ在ル者ノ服役年期ハ第三條ニ依ル其後備役ニ在ル者ハ常備役年期ヲ通シテ十二箇年四箇月トス

第三十六條 舊令第十七條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止サルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十七條 舊令第十八條第二項ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十八條 舊令第十八條第七項及第二十一條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十九條 舊令第八十條第三項ノ生徒ニシテ第一豫備徵員ト爲リ仍ホ在校ノ者ハ該

徵員タルコトヲ止メ滿二十七歳迄徵收ヲ猶豫シ其事故二十七歳ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第四十條 第三十六條第三十七條第三十八條及第三十九條ニ掲クル者 事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十一條 舊令第十八條第三項若クハ第十九條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シ在校ノ者ハ其事故六箇年以内ニ止ミタルトキ又ハ六箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第十二條 舊令第三十條ニ依リ補充員ト爲リタル者ハ之ヲ豫備徵員ト爲シ一箇年間(明治二十一年十一月一日ヨリ起算ス)ニ徵集セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第四十三條 舊令第三十一條ニ依リ第一豫備徵員ト爲リ在校セサル者及舊令第三十二條ニ依リ第二豫備徵員ト爲リタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム補充員ヨリ第一豫備徵員ト爲リタル者亦同シ

第四十四條 明治十二年第四十六號布告徵兵令ニ依リ國民軍ノ外免役又ハ平時免役若クハ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ國民兵役ニ服セシム

第四十五條 舊令第八條ニ依リ海軍兵ト爲リタル者ノ服役期限ハ同令第三條及第四條ニ依ル

第四十六條 第三十六條第三十七條第三十八條ニ掲クル徵集延期ノ者及第三十九條第四十一條ニ掲クル徵集猶豫ノ者其事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ三日以内

ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ第十三條第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十六歳迄ニ其教職ヲ罷ムル者ハ三日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ
第一項及第二項ノ届出ヲ爲サル者及本令施行前舊令第三十五條第三十六條ノ届出ヲ爲サスシテ本令施行後ニ於テ發覺スル者ハ本令第三十條ニ依リ處分ス可シ
此ノ法律ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス但現今ノ豫備徵員ハ従前ノ規程ニ依ル

●徵兵事務條例 (明治二十九年三月勅令第百十二號)

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ徵兵事務條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

徵兵事務條例

第一章 徵兵區

第一條 徵兵區ハ師管及聯隊區又ハ警備隊區ノ區域ニ從フ

第二條 聯隊區及警備隊區ハ更ニ徵募區ニ分ツ

第三條 徵募區ハ一郡又ハ一市(北海道ニ在テハ區)ヲ以テ一區ト爲ス

一市ニシテ二聯隊區ニ分屬スルモノハ各別ニ一區ト爲ス

數郡ニ一郡役所ヲ置クモノハ數郡ヲ併セ一區ト爲ス其ノ島廳ヲ置クモノ亦同シ

東京市京都市大阪市ニ於テハ更ニ徵募區ヲ檢査區ニ分チ區ヲ以テ檢査區ト爲ス

第四條 步兵隊ノ兵員ハ聯隊毎ニ其ノ師管ノ一聯隊區ヨリ其ノ他ノ兵員ハ其ノ師管各聯

隊區ヨリ徵集ス但要員ヲ充シ能ハサルトキハ他ノ聯隊區若クハ他ノ師管ヨリ其不足ヲ

補充スルコトヲ得警備隊ノ兵ハ其ノ警備隊區ヨリ徵集ス

海軍兵員ハ各師管内沿海及島嶼ヲ包括スル聯隊區ヨリ徵集ス

第二章 徵兵官

第五條 徵兵官ハ總理徵兵官、師管徵兵官、聯隊區徵兵官、警備隊區徵兵官及聯隊區聯

合徵兵署徵兵官トス

第六條 總理徵兵官ハ内務大臣及陸軍大臣ヲ以テ之ニ充テ全國徵兵ノ事ヲ統轄ス

第七條 師管徵兵官ハ師管内府縣毎ニ師團長及府縣知事ヲ以テ之ニ充テ師團長ヲ首坐トシ其ノ管内府縣徵兵ノ事ヲ統轄ス

北海道ニ於テハ師團長及北海道廳長官ヲ以テ師管徵兵官ニ充テ師團長ヲ首坐トシ其ノ管内徵兵ノ事ヲ統轄ス

第八條 聯隊區徵兵官ハ聯隊區内徵募區毎ニ聯隊區司令官及島司郡市長（北海道ノ區ニ在テハ區長）ヲ以テ之ニ充テ警備隊區徵兵官ハ警備隊司令官及島司郡長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヲ首坐トシ其ノ區内徵募事務ヲ執行ス

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ検査區毎ニ聯隊區司令官及區長ヲ以テ聯隊區徵兵官ニ充テ聯隊區司令官ヲ首坐トシ抽籤事務ヲ除クノ外其ノ區内徵募事務ヲ執行ス

第九條 聯隊區聯合徵兵署徵兵官ハ東京市、京都市、大阪市ニ於テ徵募區毎ニ聯隊區司令官市參事會員タル府ノ書記官及各區長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官ヲ首坐トシ其ノ區内抽籤事務ヲ執行ス

第十條 第八條第九條ニ掲クル徵兵官ノ外聯隊區内徵募區（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ検査區）毎ニ聯隊區徵兵參事員警備隊區内徵募區毎ニ警備隊區徵兵參事員ヲ置ク

第十一條 隊聯區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ徵兵令第二十二條ニ當ル徵兵延期及徵兵免除並ニ明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ノ徵兵猶豫ニ關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス徵兵官ノ裁決ニ付可否ヲ議スルノ權ナキ者トス

第十二條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ郡市名譽職參事會員ヲ以テ之ニ

充ツ但市ニ於テハ其ノ市名譽職參事會員ニ於テ四名ヲ互選シ之ヲ定ム

東京市、京都市、大阪市ノ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ市會ニ於テ其ノ區内ニ住スル市民中選舉權ヲ有スル者ヨリ四名ヲ選舉シ之ヲ定ム其ノ任期ハ市會議員ノ例ニ依ル

島嶼ヲ置ク島嶼ノ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ島司ニ於テ各町村會議員中ヨリ四名ヲ選ヒ府縣知事ノ認可ヲ得之ヲ命ス其任期ハ町村會議員ノ任期ニ依ル

北海道、郡又ハ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ徵募區毎ニ四名トシ北海道廳長官之ヲ命ス其ノ任期等ハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ依ル

第十三條 毎年徵募事務執行中ハ師管徵兵醫官及聯隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ヲ置ク

師管徵兵醫官ハ師管内徵兵身體檢查ニ係ル事ヲ總管シ聯隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ハ徵兵身體ノ檢查ニ從事ス

第十四條 師管徵兵官ハ師團軍醫部長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ハ聯隊司令部又ハ警備隊司令部附軍醫一名ヲ以テ之ニ充ツルヲ例トス

第十五條 毎年徵募事務執行中ハ聯隊區徵兵署及警備隊區徵兵署聯隊及聯合徵兵署ニ事務員ヲ置キ該徵兵署ノ庶務ニ從事セシム

第十六條 聯隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員ハ聯隊區書記又ハ警備隊書記二名及島嶼郡市書記（東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區書記）二名若シハ三名ヲ以テ之ニ充ツ

聯隊區聯合徵兵署事務員ハ聯隊區書記二名府屬二名及各區書記二名若クハ三名ヲ以テ之ニ充ツ

第十七條 毎年徵募事務執行中ハ地方醫師若干名ヲ以テ徵兵醫官補助員トシ北海道廳長官府縣知事之ヲ命ス

徵兵醫官補助員ハ徵兵醫官ノ指揮ヲ受ケ身體検査ノ事ヲ補助ス

第三章 配 賦

第十八條 毎年徵集スヘキ現役兵及補充兵ノ員數ハ上裁ヲ經テ陸軍大臣之ヲ各師管ニ配賦ス

第十九條 師團長ハ第十八條ニ依リ現役兵及補充兵ノ要員ヲ各聯隊區又ハ警備隊區ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ之ヲ各徵募區ニ配賦ス

第二十條 現役兵及補充兵ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 徵 募

第二十一條 町村長(町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戶長以下同シ)毎年戶籍簿ニ據リ徵兵適齡者ヲ取調ヘ徵兵令第二十五條ノ屆書ニ照較シ壯丁名簿ヲ作り二月十五日迄ニ島司又ハ郡長ニ差出シ島司郡長ハ點檢ノ後之ヲ一徵募區ニ取纏メ前年假決ノ諸名簿ト共ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ提出スヘシ

市長(東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長以下同シ)ハ前項ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ聯隊區徵兵署ニ提出スヘシ

第二十二條 毎年徵募事務執行ノトキハ各徵募區及検査區ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊徵兵署ヲ設ク但土地廣濶壯丁多數ノ徵募區ニ於テハ二箇所以上ノ地ニ逐次開設スルコトヲ得

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤執行ノ爲メ別ニ徵募區ニ聯隊區聯合徵兵署ヲ設ク

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ島司郡市長ニ協議シ徵兵署開設ノ日割ヲ定メ聯隊區司令官警備隊司令官ハ師團長ニ島司郡市長ハ北海道廳長官府縣知事ニ申報スヘシ

聯隊區聯合徵兵署開設ノ日割ハ聯隊區司令官ヨリ府ノ書記官ニ協議シ之ヲ定メ聯隊區司令官ハ師團長ニ府ノ書記官ハ府知事ニ申報シ且府ノ書記官ハ徵兵署開設ノ日割及其ノ場所ヲ區長ニ達スヘシ

島司郡市長ハ検査抽籤ノ日時及徵兵署設置ノ場所ヲ豫メ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ニ通知シ且其ノ管内ニ告示スヘシ

第二十四條 兵役ノ適否ヲ定ムル爲メ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ壯丁ノ身體検査ヲ行フ其ノ検査ハ徵兵官及徵兵參事員ノ面前ニ於テスルモノトス

第二十五條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ壯丁ノ身體検査ノ事ヲ監督シ兵種ノ選定ニ任ス

第二十六條 島司郡市長ハ徵兵延期及徵兵猶豫ニ關スル書類ノ調査及事實ノ審駁ニ任ス

第二十七條

壯丁ノ身體検査終ルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ徵兵延期徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ處分ヲ爲シ又壯丁名簿ヲ以テ徵集名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ヲ作ルヘシ

第二十八條

身體検査ニ合格シタル壯丁ハ徵集順序ヲ定ムル爲メ徵募區毎ニ體格ノ等位及兵種ヲ分テ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ抽籤ヲ行フ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ之ヲ行フ

抽籤ハ徵兵官及徵兵參事員ノ面前ニ於テ抽籤總代人ヲ爲スモノトス

抽籤總代人ハ徵募區又ハ検査區毎ニ籤丁ノ選ヲ以テ二名若クハ三名ヲ出スモノトス

第二十九條

前條ノ徵兵官ハ總代人ノ抽キタル籤番號ノ順序ニ依リ抽籤名簿二通ヲ作ルヘシ

第三十條

抽籤終ルトキハ抽籤名簿及徵集名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ領シ抽籤名簿、徵兵延期名簿、徵兵猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ハ島司郡市長之ヲ領シ島廳郡市役所（東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區役所以下同シ）ニ備置クヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ市長ノ領スヘキ抽籤名簿ハ府ノ書記官之ヲ領シ府廳ニ備置クヘシ

第三十一條

各徵募區ノ抽籤終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ第十九條ノ配賦ニ基キ現役兵徵募及補充兵編入ノ處分ヲ爲シ又徵集名簿ヲ以テ現役兵名簿、補充兵名簿及要員超過名簿ヲ作ルヘシ

第三十二條

聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ現役名簿ヲ各聯隊長（聊隊ヲ爲サザル隊ニ在テハ隊長）及海兵團長ニ交付シ且現役兵ニ徵集スヘキ者及補充兵ニ編入スヘキ者ノ順序ヲ島司郡市長ニ通知スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ府ノ書記官ニ通知スヘシ

抽籤名簿及補充兵名簿ハ之ヲ聯隊區司令部又ハ警備隊司令部ニ備置キ要員超過名簿ハ島司郡市長ニ交付シ島廳郡市役所ニ備置クヘシ

第三十三條

第二十七條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊徵兵官第三十條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官各其ノ證書ヲ附與ス但徵兵免除ノ者并ニ要員ニ超過シタル者ニハ證書ヲ附與セス

第三十四條

徵募事務終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り師團長ニ差出シ師團長ハ師管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り陸軍大臣ニ差出シ陸軍大臣ハ全國徵兵表ヲ作り奏上スヘシ

第五章 裁 決

第三十五條

裁決ハ分テ裁決及終決ノ二種トス

第三十六條

假決ハ徵集延期及徵集猶豫ノ事ヲ裁決シ終決ハ現役兵徵募、補充兵編入、要員超過、徵集免除及兵役免除ノ事ヲ裁決ス

第三十七條

徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ裁決ハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ爲シ其ノ他ノ裁決ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ爲ス

第三十八條 壯丁若クハ其ノ家族ニ於テ徵兵令第二十二條及明治二十八年勅令第百二十六號第二條ニ關スル聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ師管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ總理徵兵官ニ訴願スルコトヲ得但訴願ノ爲ニ裁決ノ執行ヲ停止セス

本條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期日ヲ過クルモノハ受理セス

第三十九條 徵兵官ノ裁決ニ對シ訴願ヲ爲サントスル者ハ其ノ訴願書ニ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主三名ノ保證書ヲ添ヘ其ノ裁決ヲ爲シタル徵兵官ヲ經由シテ差出スヘシ

第四十條 徵兵官第三十九條ノ訴願書ヲ受領シタルトキハ之ニ前裁決ニ關スル書類ヲ添ヘ上級ノ徵兵官ニ差出スヘシ

第四十一條 徵兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許サス
第六章 現役兵及補充兵

第四十二條 現役兵入營期日ハ毎年十二月一日トス但疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キ者ハ同月三十一日迄ニ入營セシム

警備隊諸兵ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年六月一日トシ砲兵輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年四月一日第三期ハ同年八月一日トシ輜重輸卒ノ入營ハ四時ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ

十二月一日第二期ハ翌年三月一日第三期ハ同年六月一日第四期ハ同年九月一日トス

仙臺、札幌、弘前、金澤ノ各衛戍地ニ於テハ砲兵輸卒ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年四月一日第二期ハ同年八月一日トシ輜重輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年三月一日第二期ハ同年六月一日第三期ハ同年九月一日トス

戰時若クハ事變ニ際シテハ第二期以下ノ入營期日ヲ變更スルコトヲ得

第四十三條 現役兵入營ノトキハ先ツ聯隊區司令部若クハ便宜ノ地ニ召集シ入營兵引率員之ヲ入營地ニ引率シ(聯隊區司令部所在ノ入營地ニ在テハ聯隊區司令官ヨリ直ニ)當該隊長ニ交付ス但入營兵五人未滿ナルトキハ直ニ入營地ニ單行セシム

海軍現役兵ハ其ノ集合地ニ引率シ入營兵受領員ニ交付スルモノトス但入營兵引率員出發後到着シタル者ハ直ニ入營地ニ單行セシム

第四十四條 現役兵入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ十四日以内ノ延期ヲ許スヘシ

其ノ延期ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ其ノ父母疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ差出スヘシ

第四十五條 現役兵入營前ハ第四條ノ區域外ニ轉籍(戶籍上本人ノ出入モ含有ス以下同シ)スルモ所屬ノ隊籍ヲ變更セス

徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者ハ身體検査ヲ行ヒ更ニ隊籍ヲ定ムルモノトス但第四條ノ區域外ニ轉籍シタル者ハ其ノ地ニ於テ身體検査ヲ行ヒ隊籍ヲ定ム

第四十六條 現役兵入營前死亡シ若クハ疾病犯罪其他ノ事故ニ由リ十二月三十一日迄ニ入營シ難シト認メタル者又ハ入營ノ後翌年一月三十一日前ニ死亡シタル者若クハ一時服役ニ堪ヘサル者又ハ常備後備ノ服役及永久服役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ其ノ徵募區同兵種ノ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ抽籤番號ノ順序ニ從ヒ補充シ若シ其徵募區ヨリ補充スルコト能ハサルトキハ聯隊區内地ノ徵募區ヨリ補充ス其ノ配賦ハ各徵募區補充兵ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム但警備隊諸兵及砲兵輸卒輜重輸卒ニシテ入營スヘキ月ノ二十日迄ニ本文ノ事故ヲ生シタル者アルトキハ次期入營スヘキ者ヲ繰上ケ入營セシム其ノ最終期ニ在テハ前期ニ繰上ケタル缺員ト其ノ期ノ缺員ハ第一補充兵ヲ以テ補充ス

第四十七條 現役兵入營前又ハ癩疾又ハ不具ト爲リ永久兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ聯隊司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ兵役ヲ免ス但徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者其ノ年徵募事務終結前ハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 現役兵入營前徵兵令第二十二條ニ當ルヘキ事故ノ生スルトキハ本人ノ願ニ由リ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ徵集ヲ延期ス其願書ニハ同徵募區内其年徵兵ニ應スヘキ現役兵ノ戶主二名ノ保證書ヲ添ヘ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ差出スヘシ但町村ニ在テハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキ者トス島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付スヘシ

第四十九條 現役兵入營前及補充兵(補充兵證書附與後其ノ年十一月三十日以前ノ者以下同シ)轉籍シタルトキハ十一月四日以内ニ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ

但町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ

其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通報スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十條 現役兵入營前及補充兵寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ其ノ復歸シタルトキ亦届出ヘシ但町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遅緩シタルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第七章 雜則

第五十一條 徵兵令第十二條ニ依リ現役ニ服センコトヲ志願スル者ハ其ノ願書ニ戶主或ハ後見人連署シ身元證書ヲ添ヘ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ九月一日以前自己ノ服役セント欲スル軍隊又ハ海兵團ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但軍隊又ハ海兵團遠隔ノ地ニ居住ノ者ハ徵兵検査ノ際聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ申立テ身體検査ヲ受ケ合格ノ

者ハ合格證書ヲ添へ願出ルコトヲ得検査ノ爲メ往復ノ旅費及人營旅費ハ自辨トス

第五十二條 第五十一條ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ入營前本籍地ノ市町村長ニ届出ヘシ

第五十三條 他ノ徵募區ニ寄留シ其ノ地ニ於テ身體検査ヲ受ケンコトヲ冀望スル者ハ三月一日迄ニ本籍地ノ島司郡市長ニ願出ヘシ

島司郡市長ニ差出ス願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

島司郡市長其ノ願ヲ許可シタルトキハ之ヲ本人寄留地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ

本條ノ願出已ムヲ得サル事故ノ爲メ三月一日ヲ過クルモノハ島司郡市長ヨリ本人寄留地ノ島司郡市長ニ協議シ徵募上故障ナキモノニ限リ許可スヘシ

第五十四條 徵兵令第二十二條ニ當ル者ハ同徵募區内其ノ年ノ徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主二名ノ保證書ヲ添へ三月一日迄ニ(三月一日後抽籤迄ニ事故ヲ生シタル者ハ其ノ都度以下同シ)聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ但其ノ事故二年以上繼續スル者ハ毎年願出テ其ノ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ本文ノ保證書ヲ添へ届出ヘシ

前項ノ願書及届書ニハ町村長與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十五條 徵兵令第二十三條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ證明書同條第二項ニ當ル者ハ公使領事又貿易事務官ノ證明書ヲ添へ三月一日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備區司令官ニ願出ヘシ

公使領事及貿易事務官ヲ置カサル國ニ在ル者ハ其ノ徵集猶豫願書ニ海外旅券ヲ受取リ

タル官廳ノ證明書ヲ添へ差出スヘシ

公使領事及貿易事務官ヲ置キタル國ニ在ル者ト雖徵集猶豫願ヲ差出ストキ未タ公使領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ得サルトキハ之ニ換フルニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ承認書ヲ添へ差出シ置キ追テ證明書ヲ差出スコトヲ得

本條ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十六條 明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ニ當ル者ハ其ノ移住ノ年月日及生業ノ狀況ヲ詳記シ毎年三月一日迄ニ聯隊區徵兵官ニ願出ヘシ

前項ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十七條 徵兵令第二十三條第一項ノ事故止ミタル者ノ届書及同條第二項ノ歸朝シタル者ノ届書ハ町村長ヨリ其ノ年ノ壯丁名簿進達前ニ在テハ其ノ名簿ト共ニ進達後ニ在テハ受領ノ日ヨリ三日以内ニ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ差出スヘシ

市長ハ前項ノ届書ヲ聯隊區徵兵署若クハ聯隊區聯合徵兵署開設ノトキ同署ニ提出スヘシ

第五十八條 疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ身體検査ヲ受ケ難キ者及一年志願兵(年齢十九歳以下ノ者ヲ除ク)出陣中ノ者ハ書面ヲ以テ検査當日迄ニ島司郡市長ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痍ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ

島司郡市長ニ差出ス届書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス
本條ノ届出ヲ爲サル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十九條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ其ノ届書ニハ市町村長ノ奥書證印ヲ受クヘキモ、トス

本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十條 徵兵署ノ諸費、壯丁及抽籤總代人ノ旅費、現役兵入營ノ旅費、徵兵參事員ノ手當金、旅費、徵兵醫官補助員ノ給料、旅費ハ官給ス

第六十一條 第七師團ノ兵員ハ其ノ師管内徵兵令施行地ヨリ徵集ス但要員ヲ充シ能ハサルトキハ他ノ師管ヨリ其ノ不足ヲ補充スルコトヲ得

第六十二條 島嶼ニ於テ本條例中ノ條規ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長、地方長官協議ノ上適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 徵兵令ヲ施行セサル地ニ寄留ノ者ハ寄留地最寄ノ徵募區ニ於テ身體検査ヲ受クルコトヲ得其ノ願出手續及取扱ハ第三十三條ノ例ニ準ス

第六十四條 徵兵令ヲ施行セル地ヨリ施行ノ地ニ轉籍シタル者ハ其ノ年又ハ翌年ノ徵集ニ應セシム但年齡二十六歳ヲ過キ轉籍シタル者ハ此限ニ在ラス

附 則

第六十五條 近衛師團ノ兵員ハ當分第一師管ヨリ徵集ス

第六十六條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ未タ郡制ヲ施行セサル郡ニ在テハ其ノ郡内ニ於テ四名ヲ選舉シ當選ノ者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ選舉人被選舉人資格、

選舉ノ方法及任期ハ總テ府縣會議員ノ例ニ依ル

第六十七條 本條例ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

●徵兵事務條例施行細則 (明治二十九年四月陸軍省令第十號)

徵兵事務條例施行細則左ノ通り改正ス

徵兵事務條例施行細則

第一條 條例第二十一條ノ壯丁名簿ハ附錄第一様式ニ依リ之ヲ作り一市(東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區以下同シ)一町村ヲ一冊ト爲シ冊尾ニ其ノ人員ノ總計ヲ記シ市町村長(東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長、町村制ヲ實施セサル地方ニ在テハ戶長以下同シ)之ニ署名押印スヘシ

第二條 徵兵令第八條第二十五條但書及明治二十八年勅令第百二十六號第三條ニ當ル者ハ市町村長之ヲ調査シ人名書(各事項ヲ頭書ス)ヲ作り壯丁名簿ニ添附スヘシ

第三條 條例第二十三條ノ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署開設日割ヲ定ムル爲メ島司郡市長ハ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ヲ調査シ其ノ人員ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第四條 聯隊區徵兵署及警備隊區徵兵署ハ島司郡市長ニ於テ聯隊區聯合徵兵署ハ府ノ書記官ニ於テ適當ノ家屋ヲ選定シ要スレハ吏員ヲ派シテ豫メ準備シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官到著ノ上之ヲ開設スヘシ

一徵募區ニ二箇所以上聯隊區徵兵署ヲ設ケントスルトキハ聯隊區徵兵官豫メ師管徵兵

官ノ認可ヲ受ケ一箇所概テ壯丁七十人(交通不便ノ地ニ在テハ概テ七十人)以上ヲ召集スヘキ地ニ設クヘシ

第五條 聯隊區徵兵署開設日割既ニ定マルトキハ島司郡市長ハ其ノ徵募品又ハ検査區内ニ於テ毎日検査ヲ受クヘキ壯丁ノ順序ヲ定メ之ヲ壯丁ニ達シ當日ニ至レハ市町村吏員ヲシテ壯丁ヲ引繼メ徵兵署ニ出頭セシムヘシ

第六條 身體検査ヲ行フトキハ島嶼郡市書記ハ壯丁ヲ呼出シ軍醫ハ徵兵検査規則ニ依リ身體ヲ検査シ體格ノ等位其ノ他所要ノ件ヲ壯丁名簿(前年ノ假決名簿中検査ヲ受クヘキ者ノ名簿ヲ含有ス)ニ記入シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ差出スヘシ

第七條 身體検査ヲ行フニ當リ壯丁ヲシテ裸體ナラシムルトキハ勉メテ別室若クハ隔障内ニ於テスヘシ

第八條 身體検査終ルノ後聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ籤丁ヲシテ抽籤總代人ヲ選ハシムヘシ

第九條 徵兵代第二十條第二十一條第二十二條ニ依リ徵集延期ニ屬スル者徵兵令第二十三條及明治二十八年勅令第百二十六號第二條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者並ニ徵兵令第十九條ニ依リ兵役免除ニ屬スル者ニハ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ附録第二第三様式ニ依リ徵集延期證書兵役猶豫證書兵役免除證書ヲ作り市ハ市長ヨリ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ付與セシムヘシ

徵集免除ニ屬シ國民兵役ニ服スル者ニハ前項ノ例ニ依リ本人ニ達スヘシ

第十條 徵集令第二十二條ノ願ヲ許可セサル者及同條ノ事故繼續シテ二箇年ノ過クルモ仍ホ止マサル旨届出タル者ニシテ徵集免除ニ屬セサル者ニハ其裁決書ヲ市ハ市長ヨリ本人ニ付與セシム明治二十八年勅令第百二十六號第二條ノ願ヲ許可セサル者亦同シ

第十一條 陸軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ

- 一 歩兵ハ身體強健ニシテ能ク勞力及遠足ニ堪ユル者
- 二 騎兵ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ體格ハ輕捷ニシテ筋肉肥滿ニ過キサル者
- 三 砲兵ハ體力強大ニシテ視力清明ナル者
- 四 工兵ハ成ルヘク工兵ノ作業ニ適當シ膂力アル者
- 五 輜重兵砲兵輸卒及輜重輸卒ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ且膂力アル者
- 六 砲兵助卒ハ身體強健ニシテ膂力アル者
- 七 職工ハ成ルヘク其ノ職ニ從事セシ者

第十二條 海軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ

- 一 水兵ハ成ルヘク帆錨舵櫓等ノ用ニ慣レタル者
- 二 機函兵ハ成ルヘク汽機汽罐ノ取扱又ハ火焚ノ業ニ慣レタル者
- 三 軍樂生ハ齒列齊正ニシテ且指節ノ強剛ナラサル者
- 四 木工及鍛冶ハ成ルヘク其ノ職業ニ慣レタル者
- 五 看護ハ成ルヘク患者ノ取扱ニ慣レタル者
- 六 主厨ハ成ルヘク割烹ノ職ニ慣レタル者

第十三條 條例第二十七條ノ諸名簿ハ種類ヲ分テ之ヲ編綴シ冊尾ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官署名押印スヘシ

公權停止中若クハ逃亡失踪等ノ爲メ其ノ年徵集スルコト能ハサル壯丁ハ徵集延期名簿ニ一年志願兵出願中及認可ヲ受ケタル者六週間現役ニ服スヘキ者ハ徵集猶豫名簿ニ編入シ各假決ノ區劃ニ其ノ事由ヲ記スルモノトス

第十四條 聯隊區ニ於テ歩兵ノ要員ヲ充スコト能ハサルトキハ聯隊區司令官ヨリ之ヲ師團長ニ具狀シ師團長ハ師管内地ノ各聯隊區ニ配賦スヘシ其ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

師管内ニ於テ要員ヲ充タシ能ハサルトキハ師團長ハ陸軍大臣ニ具狀スヘシ

第十五條 徵兵令第二十三條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者ハ身體検査ヲ行ハス

明治二十八年勅令第百二十六號第二條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者ハ初年及徵集ニ應スヘキ年ノ外身體検査ヲ行ハス

第十六條 疾病傷痍ノ爲メ身體検査ニ出頭セサル者ハ時宜ニ由リ其ノ家ニ就キ検査スヘシ

第十七條 抽籤施行ニ先チ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署若クハ聯隊區聯合徵兵署

ニ於テ合格者ノ人員ヲ調査シ兵種及甲乙兩種ニ分チ籤札ヲ作ルヘシ

籤ノ番號ハ甲乙兩種各合格者ノ數ニ應シ第一番ヨリ起スヲ例トス然レトモ抽籤ノ列ニ加ヘサル者アルトキハ現今ニ編入スルノ順序ヲ定ムル爲メ之ニ首位ノ番號ヲ附著シ其

ノ次番號ヨリ籤番號ヲ起スヘシ

第十八條 籤札ハ附錄第四様式ニ依リ之ヲ作り籤箱ニ納レ之ヲ封鎖シ徵兵官徵兵參事員列席ノ前ニ置キ其ノ封ヲ披キ徵兵署事務員籤丁名簿ノ順序ニ氏名ヲ呼ヒ抽籤總代人ニ之ヲ抽カシム

第十九條 條例第二十九條ノ抽籤名簿ハ附錄第五様式ニ依リ之ヲ作り冊尾ニ徵兵官署名押印スヘシ

第二十條 抽籤總代人ハ抽ク所ノ番號ヲ高聲ニ呼ヒ其ノ籤札ヲ徵兵署事務員ニ渡シ徵兵署事務員ハ之ヲ籤丁名簿氏名ノ頭ニ貼附シ徵兵署印章ヲ以テ割印ヲ爲シ一人毎ニ之ヲ截切リ總代人ニ交付スヘシ

第二十一條 身體検査ニ合格シタル壯丁中讀書算術ヲ能クシ且身元確實ナル者ニシテ抽籤ノ法ニ依ラス現役ニ服センコトヲ志願スル者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ許可スルコトヲ得

第二十二條 現役兵及補充兵ノ編入順序ハ左ノ如シ

一 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者(二人以上ナルトキハ年齢ノ順序同年齡ノ者ハ誕生月日ノ順序ニ從テ第二項第三項第四項第六項第七項第八項亦同シ)

二 甲種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスニテ徵集スル者

三 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者

四 第二十一條ニ依リ現役志願ヲ許可シタル者(同上法令ニテ本項改正)

五 甲種合格者ニシテ抽籤ノ者(番號ノ順序ニ從フ第九項亦同シ)

六 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者

七 乙種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

八 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者

九 乙種合格者ニシテ抽籤ノ者

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第三十一條ノ處分ヲ爲シタルトキハ附

録第六様式ニ依リ現役兵證書及補充兵證書ヲ作り市ハ市長ヲ經テ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ島司郡長及町村長ヲ經テ本人ニ付與スヘシ但東京市京都市大阪市ニ在テ

ハ府ノ書記官及區長ヲ經テ付與スヘシ

要員超過ノ爲メ國民兵役ニ服スル者ニハ前項ノ例ニ依リ其ノ由ヲ本人ニ達スヘシ

第二十四條 條例第三十一條ノ諸名簿ハ種類ヲ分テ編綴シ冊尾ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官署名押印スヘシ

第二十五條 條例第三十四條ノ徵兵表ハ附録第七様式ニ準シテ之ヲ作ルヘシ

第二十六條 壯丁名簿進達前(市ニ在テハ調製前)他ノ市町村ニ轉結スル者アルトキハ市町村長ヨリ本人徵兵適齡屆書ヲ添ヘ轉籍地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第二十七條

壯丁名簿進達後條例第三十一條ノ處分前名簿ニ關スル異動ヲ生シタル者若クハ他ノ市町村ヨリ入籍シタル者アルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ抽籤前ハ島司郡長其ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通告スヘシ

市ニ在テ壯丁名簿調製後抽籤前本條ニ當ル者アルトキハ市長其ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後條例第三十一條ノ處分前ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第二十八條 現役兵入營前及補充兵(補充兵證書付與後其ノ年十一月二十日以前ノ者)ノ名簿ニ關スル異動(轉入籍ヲ除ク)ヲ生シタルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

市ニ在テ前項ノ異動ハ市長之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ但東京市京都市大阪市ニ在テハ區長ヨリ府ノ書記官ニモ通知スヘシ

第二十九條 壯丁名簿受領後(市ニ在テハ調製後)抽籤前徵募區外ニ轉籍スル者アルトキハ島司郡市長ヨリ壯丁名簿若クハ條例第二十七條ノ名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知シ抽籤後條例第三十一條ノ處分前ニ在テハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

其ノ異動轉籍地ノ抽籤後ニ係ルトキハ次年ニ於テ假決若クハ終決ノ處分ヲ爲スヘシ但身體検査前ノ者ニ在テハ成ルヘク其ノ年便宜ノ徵兵署ニ呼出シ検査ヲ爲シ置クヘシ

第三十條 身體検査後ハ他ノ徵募區ニ轉籍スルモ總テ舊徵募區ニ於テ之ヲ處分シ其ノ合格者ハ新舊徵募區ノ最高番號ヲ率トシ比例ヲ以テ轉籍地徵募區同等番號ノ上位ニ列セシム但轉籍地徵募區現役兵補充兵ノ裁決後ニ係リ要員ニ超過スルトキハ順次之ヲ繰下クヘシ

第三十一條 抽籤後徵集延期徵集猶豫若クハ入營延期翌年回ト爲リタル者ノ名簿ニ關スル異動ヲ生スル者アルキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ其名簿ヲ訂正加除スヘシ但市ニ在テハ市長之ヲ訂正加除スヘシ

其ノ徵募區外又ハ検査區外ニ轉籍スル者ハ島司郡市長ヨリ前項ノ名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知スヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第四十九條現役兵入營前及補充兵轉籍ノ通報ヲ受ケタルトキハ之ヲ島司郡市長ニ通知シ島司郡長ハ町村長ニ達スヘシ

第三十三條 徵兵令第十三條第五項及條例第六十四條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ戶籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り島司又ハ郡長ニ差出シ市ニ在テハ市長其ノ名簿ヲ作ルヘシ

第三十四條 現役兵入營ノ期ニ先チ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ入營地若クハ海軍入營兵集合地ニ到ル日數ヲ量リ召集ノ場所及時日ヲ定メ島司郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ各自ニ達スヘシ

聯隊區外又ハ警備隊區外ニ轉籍シタル者ニ在テハ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ其場所及時日ヲ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ新住地聯隊區司令

十五

官又ハ警備隊司令官又ハ前項ノ例ニ依リ之ヲ各自ニ達スヘシ

第三十五條 條例第四十三條ノ入營兵引率員及海軍入營兵受領員ハ左ノ如ク
陸軍入營兵引率員

入營兵三十人迄

聯隊區書記一名

入營兵三十一人以上百人迄

聯隊區書記一名上等兵一名若クハ二名

入營兵百人以上二百人迄

聯隊區副官一名下士一名上等兵一名乃至三名

但二百人以上三百人迄ハ下士二名上等兵二名乃至四名三百人以上ハ下士三名
上等兵三名乃至五名トス

海軍入營兵引率員

聯隊區書記一名

海軍入營兵受領員

入營兵三十人迄

下士一名

入營兵三十一人以上百人迄

下士一名一等卒一名若クハ二名

入營兵百人以上二百人迄

尉官一名下士一名一等卒一名乃至三名

但二百人以上三百人迄ハ下士二名一等卒二名乃至四名三百人以上ハ下士三名
一等卒三名乃至五名トス

第三十六條 條例第四十三條第二項ノ海軍入營兵集合地ハ左ノ如ク(同上法令ニテ本條改正)

本郷、佐倉、水戸、麻布聯隊區ハ

東京

橫濱聯隊區ハ

橫須賀

仙臺、福島、山形聯隊區ハ

白河

新發田、柏崎聯隊區ハ

直江津

名古屋、津聯隊區ハ

四日市

豊橋、静岡聯隊區ハ

沼津

大阪、和歌山、福知山、神戸、姫路、岡山聯隊區ハ

神戸又ハ舞鶴

廣島、尾道、山口、濱田聯隊區ハ

吳又ハ廣島

熊本、大村、鹿兒島、宮崎、佐賀聯隊區ハ

佐世保又ハ長崎

札幌、函館、弘前、盛岡、秋田聯隊區ハ

青森又ハ仙臺

金澤、富山、鯖江聯隊區ハ

敦賀又ハ直江津

九龍、徳島、松山、高知聯隊區ハ

九龍

小倉、大分、福岡聯隊區ハ

門司

第三十七條 海軍現役兵入營ノ期ニ先タチ海軍團長ニ於テ入營兵集合地ヨリ入營地ニ至

ル日數ヲ量リ集合地到着日割ヲ定メ豫メ之ヲ各聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三十八條 條例第四十四條ノ入營延期願者ノ者其ノ他事故不參ノ者アルトキハ入營兵

引率員(聯隊區司令部所在ノ入營地ニ在テハ聯隊區司令官)ヨリ各隊長又ハ海軍入兵受

領員ニ其ノ由ヲ通知スヘシ

第三十九條 條令第四十六條ニ依リ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ現役兵ノ缺員ヲ

補フニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ但他ノ聯隊區又ハ警備隊區ニ轉籍シタル者ニシテ入營セサル者ノ補充ハ轉籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ノ通知ヲ得テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ

現役兵入營後ノ補充ハ各隊長又ハ海兵團長ヨリ當該聯隊區司令官ニ通知スルモノトス

第四十條 入營兵引率員召集地若クハ交附ノ際ニ於テ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ト認メタル者アルトキハ一時入營ヲ差止メ其ノ診斷證書ヲ添ヘ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ具申スヘシ

第四十一條 現役兵第一補充兵及現役兵ニ繰上ケタル海軍補充兵ハ島司郡市長ヨリ各自ノ戶籍寫ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送附シ聯隊區司令官ハ(第一補充兵ニシテ現役兵ニ繰上ケサル者ヲ除ク外)之ヲ各隊長又ハ海兵團長ニ送附スヘシ

第四十二條 條例第四十九條及本則第二十八條ニ當ル現役兵入營前ノ異動ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官(條例第四十九條ノ異動ハ轉籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官)ヨリ各隊長又ハ海兵團長ニ通知スヘシ

第四十三條 現役兵入營前徵集延期若クハ入營延期翌年回ト爲リタル者又ハ兵役免除ト爲タル者ノ名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長ニ送附スヘシ但東京市京都市大阪市ニ於テハ尙府ノ書記官ニ通知スヘシ

前項ノ名簿中入營延期翌年回ト爲リタル者ノ名簿ハ島司郡市長之ヲ徵集延期名簿ニ編入スヘシ

第四十四條 補充兵ニシテ他ノ徵募區ニ轉籍（抽籤後其ノ年十一月三十日迄ニ係ルモノヲ包含ス）シタル者ハ新舊住地徵募區同種補充兵最高ノ抽籤番號ヲ率トシ比例ヲ以テ相當番號ノ上位ニ列セシムヘシ

第四十五條 前條ノ異動ヲ生スル者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長（東京市京都市大阪市ニ於テハ府ノ書記官）ニ通知スヘシ但其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官其ノ名簿ヲ添ヘ舊住地徵募區ノ同種補充兵最高ノ抽籤番號ヲ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第四十六條 現役兵入營前及補充兵ニシテ轉籍シタル者ノ現役兵證書補充兵證書ハ總テ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ訂正スヘシ

第四十七條 現役兵證書、補充兵證書、徵集延期證書、徵集猶豫證書及兵役免除證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ更ニ下渡ヲ島司郡市長ニ請求スヘシ

第四十八條 條例第五十條ノ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ハ成年以上ノ男子ニ限ル

第四十九條 條例第五十三條ニ依リ寄留地徵募區ニ於テ身體検査ヲ受クルコトヲ許可シタル旨島司郡市長ヨリ寄留地ノ島司郡市長ニ通知スルニハ之ニ壯丁名簿若シハ前年ノ假決名簿ヲ添フヘシ寄留地ニ於テ身體検査終ルキハ前項ノ名簿ニ検査ノ結果ヲ記入シ直ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊徵兵官ヨリ本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊徵兵官ニ送

附スヘシ

第五十條 條例第五十三條ニ依リ寄留地徵募區ニ於テ検査ヲ受ケタル者本籍徵募區ノ抽籤前日ニ前條第二項ノ名簿到達セサルトキハ其ノ年ノ検査成績ニ依リ翌年假決若クハ終決ノ處分ヲ爲スヘシ

第五十一條 條例第五十一條ノ願書ハ附錄第八様式ニ依リ身元證書ハ附錄第九様式ニ依リ合格證書ハ附錄第十様式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

附 則

第五十二條 第二條中明治二十八年勅令第百二十六號第三條ニ當ル者ノ人名書ハ明治二十九年ニ於テハ明治二十八年陸軍省令第三十號第三項ニ依リ作りタル名簿ヲ以テ之ニ換フヘシ

第五十三條 北海道ニ於テハ條例第六十三條ノ徵兵令未行地寄留地最寄徵募區ヲ函館區小樽郡室蘭郡ノ三箇所トス

勅令第四十一號（明治三十一年三月十二日）

●徵兵事務條例補則

第一條 徵兵事務條例中北海道及沖繩縣並小笠原島ニ實施シ難キ諸件ハ當分本則ニ依ル

第二條 北海道廳支廳ノ管轄區域及沖繩縣ノ區並小笠原島ハ各之ヲ徵募區ト爲ス

第三條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ一徵募區ニ四名トシ地方長官之ヲ

命ス其ノ任期等ハ地方長官ノ定ムル所ニ依ル

第四條 沖繩縣及小笠原島ニ在テ徵兵參事員ハ徵兵事務條例第十一條ニ掲グル外明治三十年勅令第二百五十八號第二項若ハ第三項ノ徵集免除又ハ徵集猶豫ニ關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス

第五條 明治三十年勅令第二百五十八號第二項ニ當ル者ハ從來ノ經歷及產業ノ現況ヲ詳記シ三月一日迄(三月一日以後事故ノ生シタル者ハ其ノ都度以下同シ)ニ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ

明治三十年勅令第二百五十八號第三項ニ當ル者ハ其ノ移住ノ年月日生業ノ狀況ヲ詳記シ毎年三月一日迄ニ聯隊區徵兵官ニ願出ヘシ

本條ノ願書ニハ町村長ニ進スヘキ者ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第六條 壯丁若ハ其ノ家族ニ於テ明治三十年勅令第二百五十八號第二項及第三項ニ依ル警備隊區徵兵官又ハ聯隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ徵兵事務條例第五章ノ規程ニ依リ訴願スルコトヲ得

第七條 沖繩縣ニ在テ島司郡區長ハ明治三十年勅令第二百五十八號第二項ニ依ル徵集免除ニ關スル書類ノ調査及事實ノ審數ニ任ス

第八條 北海道及沖繩縣ニ在テハ師管徵兵官ノ許可ヲ得某徵募區ノ徵兵署ヲ他ノ徵募區内ニ設クルコトヲ得

第九條 沖繩警備隊區ノ壯丁ハ之ヲ第六師團第十二師團及海軍諸兵ニ徵集ス

沖繩警備隊區ニ於ケル現役兵及補充兵ノ要員ヲ其ノ區ノ壯丁ヲ以テ充スコト能ハサルトキハ其ノ不足員ハ第六師管及第十二師管若ハ其ノ一ヨリ補充ス

第十條 沖繩警備隊區ニ於ケル現役兵及補充兵ノ配賦ハ壯丁ノ總員ヨリ明治三十年勅令第二百五十八號第二項ニ當ルヘキ豫定ノ人員ヲ除算シタルモノヲ以テ率トス

第十一條 沖繩警備隊區ヨリ徵集ノ現役兵入營ノトキハ地方吏員之ヲ引率シ當該隊長又ハ海兵團長ニ交付セシム

第十二條 徵兵事務條例中警備隊司令官警備隊司令部附軍醫ノ職務ハ沖繩警備隊區ニ在テハ警備隊區司令官警備隊區司令部附軍醫、市長市書記ノ職務ハ沖繩縣ニ在テハ區長區書記、郡市長市書記ノ職務ハ北海道ニ在テハ北海道廳支廳長同支廳ノ屬、町村長ノ職務ハ沖繩縣及小笠原島ニ在テハ町村長ニ進スヘキ者之ヲ行フ

第十三條 北海道廳紗郡支廳管下及小笠原島ニ於ケル聯隊區徵兵官タル聯隊區司令官ノ職務ハ聯隊區副官若ハ他ノ將校ヲシテ臨時之ヲ行ハシムルコトヲ得
北海道廳紗郡支廳管下及小笠原島ニ於ケル徵兵事務執行ノ際ハ徵兵事務條例第十四條ノ軍醫ノ外仍軍醫一名ヲ以テ聯隊區徵兵醫官ト爲スコトヲ得

附則

第十四條 本則中警備隊區ニ係ル事項ハ明治三十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 第五條第一項及第二項ノ願出期日ハ明治三十一年ニ限り四月二十日迄トス

陸軍省令第三號

徵兵事務條例施行細則中北海道及沖繩縣並小笠原島ニ施行シ難キ諸件ハ當分左ノ諸項ニ依ル

明治三十一年三月十九日

陸軍大臣 子爵桂 太郎

- 一 明治三十年勅令第二百五十八號第二項ニ依リ徵集免除ニ屬スル者ハ身體検査ヲ行ハス同第三項ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者ハ初年及徵集ニ應スヘキ年ノ外身體検査ヲ行ハス
- 二 明治三十年勅令第二百五十八號ニ依リ徵集免除徵集猶豫ニ屬スル者ニハ徵兵事務條例施行細則第九條ノ例ニ依リ徵集猶豫證書ヲ付與シ又ハ徵集免除ノコトヲ達スヘシ其ノ徵集免除又ハ徵集猶豫ヲ許可セサル者ニハ徵兵事務條例施行細則第十條ノ例ニ依リ裁決書ヲ付與スヘシ
- 三 沖繩警備隊區ニ於テ要員ヲ充スコト能ハサルトキハ警備隊區司令官ヨリ第六師團長ニ第六師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ具狀スヘシ
- 四 徵兵事務條例施行細則第二十五條ニ依ル第六師管徵兵表其一中沖繩警備隊區ヨリ第十二師團ニ徵集スル現役兵ノ人員ハ之ヲ朱書シ第六師團ニ徵集スルモノト區分スヘシ
- 五 沖繩縣ノ島司郡區長ハ現役兵及第一補充兵現役兵ニ繰上ケタル海軍補充兵ノ戶籍寫ヲ警備隊區司令官ニ送付シ警備隊區司令官ハ第一補充兵ニシテ現役兵ニ繰上ケサル者ヲ除ク外之ヲ各隊長又ハ海兵團長ニ送付スヘシ
- 六 徵兵事務條例補則第十一條ノ引率吏員ハ現役兵交付ノ際徵兵事務條例第四十四條ノ入營延期願濟ノ者其他事故不登者ノ人名ヲ各隊或ハ海兵團ニ通知シ又引率ノ際永久兵役ニ堪ヘ難キト認ムル者アルトキハ警備隊區司令官ニ通知スヘシ
- 七 徵兵事務條例施行細則中ニ記載スル警備隊司令官ノ職務ハ沖繩警備隊區ニ在テハ警備隊區司令官之ヲ行フ
沖繩縣ニ在テ市長ノ職務ハ區長、市書記ノ職務ハ區書記、町村長ノ職務ハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ
北海道ニ在テ郡市長ノ職務ハ北海道廳支廳長、郡市書記ノ職務ハ北海道廳支廳ノ屬之ヲ行ヒ小笠原島ニ在テ町村長ノ職務ハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ
- 八 前諸項中警備隊區ニ係ル事項ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス其以前ニ在テ警備隊區司令官ノ職務ハ聯隊區司令官之ヲ行フ

本證書ハ翌年徴兵假決ノ前日迄其効チ有スルモノトス但翌年終決ノ處分チ受
クヘキモノハ其前日迄トス

一本證書ハ大隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵官ニ於テ假決ノ處分チ爲シタル者ニ限リ
附與スルモノトス

二本證書ハ島廳郡市役所ニ於テ調製スヘシ

第三様式 (籤札) 用紙ハ厚紙

甲(乙)種何兵第何番

籤札用紙ハ府縣廳ニ於テ調製スヘシ

第四様式 (抽籤名簿) 用紙ハ府縣廳名ノ美濃厚紙

府(縣)郡(市)甲(乙)種何兵抽籤名簿

何町

第一番 令第十三條ニ當ル者(令第二十三條ニ當ル者(志願者)) 何 某

何村

第二番 何 某

第五様式 (現役兵補允兵一證) 用紙ハ厚紙

第何旅管大隊區
府(縣)郡(市)町(村)

某長(次)男(兄弟) 本人戸主ナレハ
戸主ト記スヘシ

氏名

甲(乙)種何兵第何番
右現役兵ニ徵募シ何兵第何職(大隊)ニ編入ス(第一補充兵ニ編入ス(補充兵ニ
編入ス)

年 月 日

第何旅管徴兵署印

凡曲尺六寸

表

心得

- 一 現役兵ノ入營期日ハ十二月一日トス
- 一 警備隊諸兵ノ入營期日ハ第一期ハ十二月一日第二期ハ六月一日トス
- 一 輜重輸卒ノ入營期日ハ第一期ハ十二月一日第二期ハ四月一日第三期ハ八月一日トス
- 一 第一補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺トシテ召集セラレ又戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレ、モノトス但第一補充兵ニシテ現役兵ノ補缺トシテ召集セラレ、ハ其服役ノ初年ニ限ル
- 一 第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキ召集セラレ、モノトス
- 一 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ入營シ難キ者ハ市町村長ノ與書證印ヲ受ケタル書面(疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ)ヲ以テ入營當日迄ニ監視區長ヲ經テ大隊區司令官(警備隊區司令官)ニ届出ヘシ其届出ヲ爲サ、ルトキハ科料ニ處セラレ、モノトス
- 一 入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營延期ヲ願ハントスルモノハ市町村長ノ與書證印ヲ受ケタル書面(父母疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ)ヲ以テ大隊區司令官(警備隊區司令官)ニ届出ヘシ

裏

- 一 故ナク入營ノ期ニ後レ十日^{戰時ハ}ヲ過クルトキハ禁錮ノ刑ニ處セラレ、モノトス
 - 一 轉籍シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出其監視區外ニ係ルトキハ新舊住地ノ監視區長ニ届出ヘシ
 - 一 其届出ヲ爲サ、ルトキハ科料ニ處セラレ、モノトス
 - 一 寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ召集ノ命ヲ通報スヘキ者ヲ定メ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出ヘシ復歸シタルトキ亦其由ヲ届出ツヘキモノトス
 - 一 此届出ヲ爲サ、ルトキハ科料ニ處セラレ又通報人正當ノ事由ナクシテ徵集ノ命ヲ通報セス若クハ遅緩シタルトキハ科料又ハ拘留ニ處セラレ、者トス
 - 一 此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ更ニ下渡ヲ島司郡市長ニ請求スヘシ
- 表面「右現役兵ニ徵募シ」ノ下近衛兵又ハ海軍兵ニ在テハ「近衛歩(騎)(砲)(工)(輜重)兵隊ニ編入ス」又ハ「横須賀(吳)(佐世保)鎮守府海兵團ニ編入ス」ト記スヘシ
- 二 本證書用紙ハ府縣廳ニ於テ調製スヘシ
- 第六様式 (兵役免除證書)

第何旅管何大隊區
府(縣)郡(市)町(村)

用紙ハ厚紙

海	軍																			
	現		兵 充 補 二 第							兵 充 補 一 第										
	守	何	計	靴	縫	輜	工	砲	騎	步	計	靴	縫	輜	工	砲	騎	步		
府	鎮	火																	水	火
	計	夫	兵	計	工	工	卒	兵	兵	兵	兵	計	工	工	卒	兵	兵	兵	計	

考備	軍													
	總		補 充 兵		役									
	計	計	火	水	計	守 府		何 鎮						
火						水	火	水	火	水	火	水		
	計	計	夫	兵	計	計	夫	兵	火	水	火	水	火	水

- 一 徵兵令第二十七條ニ當リタル者ニシテ新兵要員ニ加ヘタル者アルトキハ相當區
畫ニ其人員ヲ合記スヘシ
- 二 警備隊區アル旅管ニ在テハ大隊區ノ下ニ其區畫ヲ設クヘシ
- 三 北海道在籍ノ者ハ所管大隊區ノ下ニ北海道ノ區畫ヲ設ケ其人員ヲ記スヘシ其ニ
表亦同シ
- 四 本表ノ區畫ハ實際ニ就キ適宜増減スヘシ其ニ表亦同シ
第七様式ノ二 (徵兵表)

用紙ハ美濃紙

員人除免集徵	員人豫猶						期延	
	計	事故不參	逃亡失踪	公權停止	一年志願兵志願者	外國留學	學校生徒	家族自活シ命ハサル者
徵集ニ適セサル者								
徵兵上徵集ニ適セサル者								
令第廿二條ニ當リ三箇年ヲ過クル者								
現役補充兵ノ要員ニ超過スル者								
計								

考備	總計	重罪ノ刑ニ處セラレタル人員	現役ヲ終ヘ又ハ現役中ノ人員	員人除免役兵		
				計	廢疾不具	八身寸長未滿尺

一 現役補充兵ノ區畫中甲種合格者ハ墨書シ乙種合格者ハ朱書ス可シ
 二 徵兵令第二十七條ニ當リタル者ニシテ新兵要員ニ加ヘタル者アルトキハ別ニ其區畫ヲ設クヘシ

第八様式 (現役志願書)

現役志願書

私儀被兵令第十二條ニ依リ現役ニ服シ度候間服役ノ義御許可相成座別紙身元證書 検査合格證書ヲ添ユル者ハ「身元證書」相添ヘ戸主(後見人)連署ヲ以テ此段奉願候也

年月日

府(縣)郡(市)町(村)番地 寄留ノ者ハ寄留地ヲ併記スヘシ
本 人 氏 名 印
同 戸主(後見人) 氏 名 印

歩(騎)(野戰砲)(要塞砲)(工)(輜重)兵第何聯(大)隊(何鎮守府)近衛隊ニ出願
ノ上ニ近衛ノ 御 中
二字加フヘシ

第九様式 (身元證書)

身元證書

府(縣)郡(市)町(村)番地 華(士)族(平民)
某長(次)男(兄)弟 本人戸主ナレハ
戸主ト記スヘシ 姓
年月日生

二 戸籍内ノ者

- 二 妻 某 何某長(次)女年月日婚姻
- 二 長(次)男 某 年月日生
- 二 父 某
- 二 母 某
- 二 祖父 某
- 二 祖母 某
- 二 兄 某 年月日生
- 二 妹 某 年月日生
- 二 何 々

- 二 戸主(家族)直接國稅何圓何錢ヲ納ム
- 二 戸主(家族)家屋ヲ有ス(家屋ヲ有セス)
- 二 尋常(高等)小學校卒業、何年級迄修業)
- 二 何學校(塾)ニ於テ何學卒業(何學修業)
- 二 現今何ノ職業ニ従事ス
- 年月日何ノ賞トシテ何々ヲ受ク
- 二 刑罰ヲ受ケタルコトナシ(年月何々ノ科ニ依リ何罰ニ處セラル)

一種痘何回(天然痘)
右ノ通相違無之候也

年月日

本人

氏名 印

戸主(後見人)

氏名 印

自昔ノ通相違無之候也

年月日

何市(區)町(村)長

氏名 印

第十様式 (合格證書) 用紙ハ大隊區(警備隊區)司令部款名美濃野紙

府(縣)何族(平民)

徵兵令第十二條現役志願者 氏名

一身長何尺何寸何分

一盤格甲(乙)種

一何兵ニ適當

右檢査合格ニ付此證書ヲ附與ス

年月日

何大隊區司令官 氏名 印

陸軍何等軍醫 氏名 印

●徵兵附屬法

●徵兵検査規則

第一條 徵兵検査ハ徵兵令ニ據リ兵役ニ服スヘキモノ、體格ヲ検査シ其適否ヲ定ムルモノトス

此検査ハ學術上諸種ノ方法ヲ施スコトヲ得

- 第二條 左ノ疾病畸形ノ者ハ不合格トス
- 一 惡性腫瘍
 - 二 骨軟化、佝僂病
 - 三 象皮腫、癩
 - 四 動脈瘤
 - 五 癲癩
 - 六 白痴
 - 七 癲狂
 - 八 夜盲
 - 九 盲
 - 十 耳殼若クハ鼻ノ全缺スルモノ
 - 十一 聾
 - 十二 啞
 - 十三 唇、齒、牙口内ノ疾病ニシテ官能ニ大ナル妨アルモノ
 - 十四 食道狹窄
 - 十五 脊梁、骨盤ノ畸形ニシテ運動ニ大ナル妨アルモノ
 - 十六 歇兒尼亞
 - 十七 關節畸形
 - 十八 習癖脱臼
 - 十九 支肢ノ短縮、彎曲
 - 二十 指節ノ強剛ニシテ把握ニ大ナル妨アルモノ
 - 二十一 拇指若クハ示指若クハ二指以上ヲ失シタルモノ
 - 二十二 鬚足
 - 二十三 第一趾ヲ失シタルモノ若クハ三趾以上ヲ失シタルモノ
- 前項ノ疾病畸形中輕症ニシテ服役シ得ヘキモノハ合格トシ爾餘ノ疾病畸形ト雖モ服役

シ得ヘカヲサルモノハ不合格トス

第三條 徵兵體格ノ等位ヲ區別スルコト左ノ如シ

- 一 甲種 身長五尺以上ニシテ身體強健ナルモノ
 - 二 乙種 身長五尺以上ニシテ身體甲種ニ亞クモノ
 - 三 丙種 身長五尺以上ニシテ身體乙種ニ亞クモノ及身長五尺未滿四尺八寸ニシテ丁種戊種ニ當ラサルモノ
 - 四 丁種 第二條ニ當ルモノ及身長四尺八寸ニ滿タサルモノ
 - 五 戊種 徵兵令第十八條第一項第二項ニ當ルモノ
- 第四條 第三條ノ甲種乙種丙種ヲ合格トシ其甲種乙種ハ現役ニ徵スヘキモノ丙種ハ國民兵役ニ置クモノトシ丁種ヲ不合格戊種ヲ徵集延期トシ

◎徵兵検査ノ際徵集ニ適スル者ノミ入營方

徵兵令第二十七條ニ依リ徵集スヘキ者ハ徵兵検査ノ際更ニ身體検査ヲ爲シ徵集ニ適スル者ノミ其年ノ新兵所要人員ニ加ヘ入營セシム但徵集ニ適セサル者免役ニ屬スル者ヲ除クハ尙ホ次年同一ノ處分ヲ爲スモノトス

◎徵兵事務條例中明文ナキモノ鎮臺ヘ協議取計方

明治十七年第十八號布達徵兵事務條例中明文ナク徵兵事務執行上差支候モノハ是迄當省ヘ伺出來候處自今所管鎮臺ヘ協議ノ上取計フヘシ此旨相達候事

但別途費用ヲ要スヘキモノハ豫メ主務省ヘ伺出ヘシ

◎徵兵令第廿二條ノ餘人ヲ以テ代フ可ラサル官吏認可ノ件

明治二十二年法律第一號徵兵令第二十二條ニ當ル餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉ス

ル官吏ハ豫メ其管轄ヨリ内閣ニ具狀シ認可ヲ請フ可シ

◎附籍者徵兵適齡届出及應徵方

附籍者ニシテ徵兵適齡ノトキハ戸主ト家族ヲ問ハス戸主ヨリ家族ノミ他へ附籍ノ場合ニ在テハ本籍戸主ヨリ徵兵令第二十五條ノ届書ヲ差出サシメ本籍ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應セシムヘシ

◎徵兵延期若クハ猶豫中他徵集區ニ轉籍スル者アルトキ通知方

徵兵令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延期若クハ徵集猶豫中他ノ徵募區ニ轉籍スルモノアルトキハ島司郡市長ヨリ其名簿ヲ添へ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知セシムヘシ

但失踪逃亡其他ノ事故ニ依リ翌年回ト爲リタル者ニテ他ノ徵募區ニ轉籍スル者ノ取扱ヒ亦本文ニ同シ

◎明治十七年以前ノ徵兵失踪逃亡者ニ其踪跡不明ノ者ハ毎年調査ヲ要セス
明治十七年以前ノ徵兵ニシテ失踪逃亡ノ者ハ歸投若クハ所在發見スルニ從ヒ徵集ノ手續ヲ爲シ其踪跡不明ノ者ハ毎年調査スルニ及ハス

◎明治廿二年以前ノ徵兵相當者ニシテ失踪逃亡ノ者メ徵集ニ應セサル者取調へ差出サシム

明治二十二年以前ノ徵兵相當者ニシテ失踪逃亡ノ爲メ徵集ニ應セサル者ヲ取調其住所氏名年齢ヲ配シ本年十一月三十日迄ニ當省へ差出可シ但所在發見シタルトキハ其都府届出

可シ

◎六週間陸軍現役兵ノ徵集及服役方

朕徵兵令第十一條第三項ニ依リ陸軍現役ニ服スハキ者ノ徵集及服役ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

徵兵令第十一條第三項ニ依リ六週間陸軍現役兵ニ服スヘキ者ハ其教職ニ在ル地ヲ包括スル師管ノ歩兵隊ニ編入ス其身體檢査ハ入營ノ際歩兵聯隊ニ於テ之ヲ行ヒ檢査ニ合格セサル者ハ國民兵役ニ編入ス

入營期日ハ毎年六月一日トシ其入營旅費ハ官給ス

◎六週間陸軍現役ニ服スル者取扱方

徵兵令第十一條第三項ニ依リ六週間陸軍現役ニ服スル者ノ取扱左ノ通定ム

第一項 官立府縣立師範學校ヲ卒業シ官立公立小學ノ教職ニ在ル者ノ身幹尺度ヲ道廳府縣ニ於テ調査シ毎年五月一日迄ニ其族籍氏名ト共ニ師團司令部ニ通知シ同日以後ニ係ルモノハ其時々通知ス可シ但官立小學校ノ教職ニ在ルモノハ其所屬長ヨリ四月二十日迄ニ族籍氏名及身幹尺度ヲ學校所在地廳府縣ニ通知シ同日以後ニ係ルモノハ其時々通知ス

第二項 師團司令部ニ於テハ入營ス可キ人員ヲ歩兵聯隊ニ配當シ入營前日迄ニ其聯隊所在地ニ召集シ身體檢査ヲ行ハシム可シ但身幹定尺ニ滿タサル者ハ召集スルヲ要セス

身體検査ノ格例ハ一般徴兵ノ例ニ依ル

第三項 身體検査ニ合格シタル者ト合格セサル者身定尺ニ滿タサル者共ヲ区分シ師團長ヨリ本籍ノ旅管徴兵官ニ通知ス可シ

第四項 旅管徴兵前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其合格セサル者ニハ國民兵證書ヲ附與ス可シ

第五項 前諸項ニ掲クルモノ、外ハ師管徴兵官ニ於テ適宜之ヲ定ム可シ

◎官立府縣立師範學校卒業生徴兵ニ關スル件

官立府縣立師範學校卒業生ノ徴兵ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

官立府縣立師範學校生徒ニシテ明治二十二年中ニ卒業スル者ハ徴兵令第四十一條ニ據ラズ直ニ官立公立學校ノ教員ト爲ルコトヲ得其教員ト爲リタル者ハ同令第三十七條ニ據リ關分スヘシ

◎徴兵事務條例中徵募區及市長、市書記、市徴兵、參事員ニ關スル件

徴兵事務條例中徵募區及市長、市書記、市徴兵、參事員ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

徴兵事務條例第三條ノ徵募區ハ東京市京都市大坂市ニ於テハ區ヲ以テ徵募區ト爲ス
徴兵事務條例中市長及市書記ノ職務ハ東京市京都市大坂市ニ於テハ區長若クハ區書記ニ

於テ之ヲ行フ

東京市京都市大坂市ニ於テハ市徴兵參事員ヲ置カス區ニ區徴兵參事員ヲ置キ市徴兵參事員ノ職務ヲ掌ラシム其人員選舉人被選舉人資格選舉ノ方法及任期ハ市徴兵參事員ニ同シ
區徴兵參事員ノ選舉月日及選舉開會並投票函閉鎖ノ時刻ハ明治二十二年ニ限リ府知事ヨリ選舉開會五日前ニ告示スルコトヲ得

◎輜重輸卒現役期限及入營期限

陸軍輜重輸卒現役期限及入營期限ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍輜重輸卒ノ現役期限ハ一箇年トシ三期ニ分チ入營セシム其第一期ハ十二月一日第二期ハ四月一日第三期ハ八月一日トス

疾病犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ次期ニ於テ入營セシノ其補缺員ハ次期入營ス可キ者ヲ繰上ケ其月ノ十日迄ニ入營セシム但第三期ニ在テハ豫備徴員ヲ以テ補缺ス

◎舊徴兵令交渉ノ件取扱方

本年法律第一號ヲ以テ徴兵令改正ニ付テハ舊徴兵令ニ交渉ノ件取扱方左ノ通定ム

第一項 左ニ掲クル者ハ戶長ニ於テ徴兵事務條例施行細則第一條ニ依リ壯丁名簿ヲ作り

島司又ハ郡區長ニ差出サシムヘシ

第二項 新令第四十條第四十一條ニ當リ徵集ニ應スヘキ者 一 舊令第十八條第五項第

六項ニ當リ徵集猶豫中ノ者 三 舊令第十七條ニ當ル者ニシテ其資格ヲ失ヒ第十八

餘第五項第六十九條第二十一條ニ當ルモノニシテ其事故止ミ本年徵集ニ應スヘキ者

四 新令施行前逃亡失踪其他ノ事故ニテ翌年回シト爲リタル者

第二項 前項ノ壯丁名簿ハ島司郡區長ヨリ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ提出セシム可シ

第三項 新令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延期又ハ徵集猶豫中ノ者ハ別ニ壯丁名簿ヲ作ルヲ要セス從前ノ徵集猶豫名簿ヲ島廳又ハ郡區役所ニ備ハ置キ異動ヲ生スル者アルトキハ訂正セシムヘシ

●徵兵検査ノ際壯丁身長測定方

徵兵身體検査ノ際壯丁ノ身長ハ大隊區又ハ警備隊區徵兵署事務員ヲシテ測定セシムヘシ

●徵兵醫官補助員定員

徵兵事務條例第十八條ノ徵兵醫官補助員ノ定員ハ一徵募區ニ三名トス但實際ノ便宜ニ依リ數徵募區ヲ通シテ同一人ヲ採用スルコトヲ得

◎徵兵醫官徵兵検査ノ報告手續

徵兵醫官ノ徵兵検査報告手續左ノ通定ム

一 徵兵醫官ハ検査終了後徵兵體格表^{其一}ヲ様式ノ如ク調製スヘシ而シテ大隊區(警備隊區)徵兵醫官ハ検査終了後一週日以内ニ之ヲ旅管徵兵醫官ニ出シ旅管徵兵醫官ハ之ヲ受ケタル後三週日以内ニ合算シ所管軍醫長ヲ經テ陸軍省醫務局長ニ報告スヘシ

●國民軍條例

第一條 國民軍ハ陸軍ニ屬シ主トシテ衛戍若クハ邊疆ノ警備ニ充ツ

第二條 國民軍ハ國民兵ヲ以テ之ヲ編制ス

第三條 國民兵ノ召集及ヒ解散ハ勅命ニ依リ師團長之ヲ行フ

戒嚴ヲ宣告シ得ルノ權アル司令官時機切迫シテ通信斷絶シ命ヲ請フノ途ナキ時ハ直チニ召集ヲ行フコトヲ得

第四條 國民軍幹部ハ必要ニ應シ現役後備豫備ノ陸軍將校、同相當官、準士官下士ヲ以テ充ツルノ外左ニ掲クル者ヨリ選抜シテ之ニ充ツ

一 退役ノ陸軍將校、同相當官、準士官ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

二 元陸軍下士上等兵ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

三 國民兵中才幹技能アル者

第五條 陸軍後備兵ニシテ後備軍召集ニ加ハラサル者ハ特ニ國民軍ニ編入スルコトヲ得

第六條 第四條第二第三ニ該ル者ノ任官ハ陸軍武官官等表ニ依リ士官以上ハ師團長ノ具狀ニ依リ陸軍大臣之ヲ奏薦宣行シ其他ハ師團長ノ認可ヲ得テ聯隊長、同等以上ノ權アル長官之ヲ行フ

第三條第二項ニ依リ召集ヲ行ヒタル司令官ハ召集員ニ士官以上ノ勤務ヲ命スルコト

ヲ得其勤務ヲ命セラレタル者ノ身分取扱ハ其官職ヲ有スル者ニ準ス
前項ノ司令官師團長ニアラサル時ハ準士官以下ノ任官ニ付キ師團長ト同一ノ權ヲ有
ス
第七條 國民軍幹部ノ進級ハ拔擢トス其任官ハ前條ノ例ニ依ル
第八條 國民軍編制ノ爲召集セラレタル者及ヒ志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者
ハ其間現役ニ準ス
第九條 第四條第二第三ニ該リ任官シタル者解散ノ時ハ準士官以上ハ之ヲ退役トシ下
士ハ其官ヲ免ス

●國民兵召集規則

第一章 總則

第一條 國民兵召集ヲ別テ左ノ四種トス
第一種 陸軍ニ於テ軍事教育ヲ受ケタル者
第二種 滿廿一歳以上二十六歳未満ニシテ陸軍豫備徵員タリシ者
第三種 滿二十六歳以上三十歳未満ニシテ陸軍豫備徵員タリシ者
第四種 前三種ニ屬セサル者
第二條 各種ノ國民兵召集ハ各種同時若クハ各別ニ之ヲ行ヒ又ハ一部ノ地方ヲ限り之
ヲ行フコトヲ得

第三條 各種ノ國民兵ハ年齢若キ者ヨリ之ヲ召集スルヲ例トス

年齢十七歳以上二十歳迄ノ國民兵ハ特別ノ命令アルニ非ラサレハ之ヲ召集セス

第四條 本規則ニ於テ郡ト稱スルハ市東京、京都、大阪及島廳ヲ置キタル島嶼ヲ包含
ス

第五條 本規則ニ於テ師團長ト稱スルハ近衛師團長ヲ包含セス又警備隊區ニ在テハ同
司令官ハ大隊區司令官、島司ハ郡長、市長東京、京都、大阪ハ郡長及町村長、戶
長ハ町村長ノ職務ヲ行フ

第六條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル司令官國民兵ノ召集ヲ行フ場合ニ在テ師團長ニアラ
サル司令官ハ其召集ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス

第二章 召集

第七條 師團長國民兵召集令ヲ下ストキハ之ト同時ニ召集ノ種類所要ノ人員及召集地
ヲ定メ旅團長ヲ經テ大隊區司令官ニ達シ又地方長官ニ通知スヘシ
師團長所要ノ人員ヲ定ムルニハ召集區域中召集ノ種類毎ニ其總員不應召員ノ見込數
ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各大隊區ニ配賦ス但配賦人員ニハ檢査不合格見込人員凡十
分ノ一ヲ加算スルモノトス

第八條 大隊區司令官前條ノ達ヲ受クレハ各郡ニ配賦スヘキ人員召集地及應召員ノ一
日集合スヘキ地點並ニ其集合期日ヲ定メ之ヲ郡長ニ通達ス

大隊區司令官召集人員ヲ定ムルニハ大隊區中召集ノ種類毎ニ其總員ヲ率トシ比例ヲ

以テ之ヲ各郡ニ配賦ス

大隊區司令官ハ各郡ノ應召員並ニ其召集地到着ノ時日ヲ豫定シ之ヲ旅團長ヲ經テ師團長ニ報告スヘシ

第九條 郡長ハ地方長官ヨリ國民兵召集令ヲ受領シ大隊區司令官ヨリ前條第一項ノ通達ヲ受ケタルトキハ召集令、召集スヘキ人員、召集地、集合地及集合期日ヲ町村長ニ通達シ且集合地ニハ吏員ヲ派遣スヘシ

郡長召集人員ヲ定ムルニハ郡中召集ノ種類毎ニ其總員ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各町村ニ配賦ス

第十條 町村長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ其配賦人員ニ應シ第一様式ノ召集令傳達書ヲ作り之ヲ國民兵中召集スル種類ニ相當スル者ノ内年齢若キ者ヨリ逐次ニ之ヲ交付シ配賦人員ニ充タシメ然ル後合地ニ至リ派遣ノ郡吏員ニ第二様式ノ應召員連名簿ニ通テ附シテ應召員ヲ交付スヘシ此名簿ニハ其町村ニ在籍スル國民兵中召集令傳達書ヲ交付シタル總テノ人名ヲ掲ケ不應召員ハ其事由ヲ記シ第十二條ノ書類ヲ添フヘシ

第十一條 召集令傳達書ヲ受ケタル國民兵ハ町村長ノ指示ニ從ヒ該傳達書ヲ携帶シ發途スヘシ

第十二條 正當ノ事故ニ因リ召集ニ應シ難キ者ハ本人或ハ戶主若シハ其家族ヨリ二十四時間以内ニ町村長ニ届出ツヘシ但其事故傷痕疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ其他ハ憲兵或ハ警察官ノ承認書ヲ添フヘシ

前項ニ違背シタル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十三條 郡吏員集合地ニ至レハ町村長ヨリ受領セシ連名簿ヲ大隊區司令官或ハ大隊區司令官部出張員ニ差出ヘシ

第十四條 應召員集合地ニ到着スレハ大隊區司令官或ハ大隊區司令官部出張員身體検査ヲ爲サシメ合格不合格ヲ召集令傳達書並ニ連名簿ニ記入シ連名簿一通ハ之ヲ郡吏員ニ傳達書ハ之ヲ本人ニ返附シ且合格者ハ郡吏員ヲシテ召集地ニ引率セシメ不合格者ハ直チニ歸郷セシムヘシ但身體検査ハ最寄衛戍地ノ在職軍醫若クハ地方醫師ヲシテ之ヲ行ハシム

第十五條 郡吏員應召員ヲ引率シ召集地ニ到着シタルトキハ連名簿ト共ニ之ヲ國民兵受領員ニ交付スヘシ

第十六條 召集地ニ於ケル國民兵受領員ハ師團長適宜ニ之ヲ編成スヘシ

第十七條 召集令傳達書ハ應召員ヨリ編入セラレタル部隊ニ差出スモノトス

第十八條 陸軍召集條例第二章中本則ニ矛盾セサルモノハ之ヲ準用ス

第三章 旅費支給

第十九條 國民兵召集旅費ハ當該監督部長陸軍大臣ノ命令及師團長ノ請求ニ依リ居住地ヨリ集合地迄ノ概算額ハ之ヲ陸軍臨時召集旅費支出規程ニ定ムル所ノ出納官吏ニ交付シ該出納官吏ハ適宜之ヲ應召員ニ交付スヘシ

●陸軍六週間現役兵條例施行細則

(明治二十八年十月勅令第四百一十一號)

朕陸軍六週間現役兵條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍六週間現役兵條例

第一條 徵兵令第十三條第三項ニ依リ六週間陸軍現役ニ服セシムヘキ者ハ教職ニ就キタル年若クハ其ノ翌年ニ於テ其ノ居住地師管内ノ歩兵隊(警備隊ヲ置ク島嶼ニ在テハ警備隊)ニ編入シ服役セシム

第二條 六週間現役兵ノ入營期日ハ毎年六月一日トス但疾病其ノ他ノ事故ニ由リ期日ヨリ三日以内ニ入營シ難キ者ハ翌年徵集ス

戰時若クハ事變ニ際シテハ其ノ徵集ヲ延ハスコトアルヘシ

第三條 現役服役日數ハ入營期日ヨリ起算ス

第四條 六週間現役兵ノ教育ハ聯隊長(獨立大隊ニ在テハ隊長警備隊ニ在テハ司令官以下之ニ倣フ)其ノ責ニ任ス

第五條 六週間現役中勤務勉勵品行方正ニシテ第二國民兵ヲ以テ編成スル部隊ノ幹部タルヲ得ヘキ材幹アル者ニハ聯隊長其ノ成績ヲ具シ順序ヲ經テ師團長(第七師管ニ在テハ屯田兵司令官)ノ認可ヲ受ケ國民軍幹部適任證書ヲ授與ス

第六條 六週間現役兵ノ身體検査ハ入營スヘキ年ニ於テ一般ノ徵兵検査ト同時ニ之ヲ行フ徵集ニ適セサル者ハ徵兵検査規則ニ照シ處分ス

北海道及沖繩縣ニ在ル者ノ身體検査ニ關スル規程ハ陸軍大臣別ニ之ヲ定ム

第七條 検査往復旅費及入營旅費ハ官給ス

附則

第八條 北海道ニ在ル者ハ第七師管ニ常備歩兵隊ヲ置ク迄ハ第二師管ノ歩兵隊ニ編入シ服役セシム

第九條 本令ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

明治二十三年勅令第二十二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

●陸軍六週間現役兵條例施行細則

(明治三十年四月陸軍省令第九號)

陸軍六週間現役兵條例施行細則左ノ通改正ス

陸軍六週間現役兵條例施行細則

第一條 六週間現役兵ノ身體検査ハ教職ニ就キタル年居住地所在ノ聯隊區内又ハ警備隊區内便宜ノ徵兵署ニ於テ之ヲ行フ但其ノ年ノ入營期日ニ切迫シ若クハ入營期日後教職トナリタル者ハ翌年廻トス

第二條 府縣廳ニ於テハ徵兵事務條例施行細則第一様式ニ準シ六週間現役兵名簿ヲ作り身體検査ニ先タチ之ニ聯隊區司令官(沖繩縣在籍ノ者ヲ除ク)又ハ警備隊司令官ニ送付シ検査ノ手續ヲ協議スヘシ但官立小學校ノ教職モ亦本文同様該校所在府縣ニ於テ取扱フヘシ

第三條 聯隊區司令官警備隊司令官ハ六週間現役兵ノ身體検査ニ關シテハ尋常徴兵ト同

一ノ取扱ヲ爲シ合格者ニハ附録第一様式ノ合格證書ヲ付與シ其ノ名簿ヲ師團長ニ差出

シ且其ノ成績ヲ北海道廳又ハ府縣知事ニ通知スヘシ

其ノ徵集ニ適セサル者ハ徵集延期徵集免除又ハ兵役免除ノ處分ヲ爲シ徵集延期名簿ヲ北海道廳又ハ府縣廳ニ送付シ徵集免除及兵役免除名簿ヲ本籍所管ノ島司郡市長（北海道ニ在テハ北海道廳支廳長東京市京都大阪市及沖繩縣ノ區ニ在テハ區長以下同シ）ニ送付スヘシ

第四條 師團長ハ合格者在職地ノ遠近ニ應シ適宜之ヲ各隊ニ配付スヘシ但沖繩縣ニ在職ノ者ハ歩兵第四十五聯隊ニ入隊セシムルモノトス

第五條 北海道及沖繩ニ在テハ師團長地方官協議ノ上時宜ニ依リ教職ニ就クヘキ年身體検査ヲ爲シ又北海道ニ在テハ居住地所在ノ聯隊區外ニ於テ身體検査ヲ爲スコトヲ得

一 北海道ニ在ル者ハ札幌聯隊區司令部沖繩縣ニ在ル者ハ鹿兒島聯隊區司令部ニ於テ身體検査ヲ行フ但北海道ニ在テハ師範學校卒業ノ翌年以後ノ者ニ在テハ札幌聯隊區司令部又ハ函館聯隊區司令部若クハ隊該聯隊區内便宜ノ徵兵署ニ於テ行フ

二 北海道廳及沖繩縣廳ニ於テハ教職トナルヘキ年豫メ第三條ニ準シ名簿ヲ作り該聯隊區司令部ニ送付スヘシ

三 札幌聯隊區司令官ハ三月一日迄鹿兒島聯隊區司令官ハ成ルヘク五月二十五日ヨリ同月卅一日迄ノ間ニ身體検査ヲ行フヘシ但第一項但書ニ該ル者ハ此ノ限ニアラス

四 鹿兒島聯隊區司令官ハ合格者ノ人名書ヲ師團長ニ差出シ又其ノ名簿ヲ聯隊長ニ送付スヘシ

五 身體検査ノ爲メ沖繩縣ヨリ鹿兒島縣聯隊區司令部ニ到ラシムヘキ者ハ縣官一名之ヲ引率セシムヘシ

第六條 身體検査ノ後教職ヲ罷メタル者アルトキハ道廳府縣廳ヨリ直ニ師團司令部ニ通報スヘシ

第七條 身體検査ヲ受ケタル者ハ其ノ年ノ五月三十一日迄ニ合格若クハ其ノ受ケシ處分ヲ本籍所管ノ島司郡市長ニ届出ヘシ

本條ノ届出ヲ爲サル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第八條 六週間現役兵退營スルトキハ聯隊長（獨立大隊ニ在テハ其隊長警備隊ニ在テハ該司令官以下同シ）ハ該名簿ヲ本籍所管ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付シ聯隊區司令官警備隊司令官ハ之ヲ島司郡市長ニ送付スヘシ

條例第五條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ授與シタル者アルトキハ聯隊長其ノ旨ヲ名簿ニ記載シ其ノ國民軍幹部適任證書ハ附録第二様式ニ準シ調製スヘシ

第九條 國民軍幹部適任證書ヲ授與セラレタル者ニシテ懲戒處分ヲ受ケ又ハ家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ若クハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ證書ヲ返還セシム

第十條 前諸條ニ掲クルモノノ外ハ師團長及道廳長官府縣知事協議ノ上之ヲ定ム

明治三十年ニ於テ徵募スル六週間現役兵身體検査ハ聯隊區司令部若クハ聯隊區内便宜ノ地ニ於テ施行スルコトヲ得
沖繩縣警備隊區ニ係ル事項ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス其以前ニ在テ警備隊區司令官ノ職務ハ聯隊區司令官之ヲ行フ

●陸軍一年志願兵條例 (明治二十六年七月勅令第七十三號)

朕陸軍一年志願兵條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍一年志願兵條例

- 第一條 徵兵令第十三條ニ據リ一年志願兵トナル者ハ居住地師團管內ニ於テ服役スヘキ兵科及衛戍地ヲ選フコトヲ得但第四條ニ當ル者ハ此限ニ在ラス
- 第二條 一年志願兵ニハ所屬隊ヨリ糧食、被服、裝具、兵器、彈藥ノ現品ヲ給シ被服費、裝具費、彈藥費、及兵器修理費トシテ金六十二圓糧食費トシテ金三十八圓ヲ納メシム又騎兵科ニ入ル者ニハ馬匹ヲ貸與シ馬糞費、裝蹄費、別毛費及馬藥費トシテ更ニ金七十五圓ヲ納メシム以上ノ金額ニテ不足ヲ生スルトキハ之ヲ追徵シ殘餘アルトキハ之ヲ還付シ兵器ハ本人滿期ノ際之ヲ返納セシム
- 第三條 一年志願兵ハ在營セシムルヲ例トス但本人ノ願ニ依リ聯隊長(聯隊ヲ成ササル隊ニ在テハ該隊長以下同シ)外泊ヲ許シ通勤セシムルコトヲ得
- 第四條 費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ハ糧食費外ノ費用ヲ官給ス
- 第五條 一年志願兵ハ總テ無給料トス其検査往復並ニ入營退營旅費亦自辨トス

第六條 官費服役ヲ許スヘキ一年志願兵ノ定員ハ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

官費服役出願者前項ノ定員ヲ超過スルトキハ年少ノ者ヨリ順次次年ニ廻シ入隊セシム

第七條 一年志願兵ハ現役滿期ノ後六箇年四箇月間豫備役ニ五箇年間後備役ニ服セシム豫備役後備役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナラシテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第八條 一年志願兵志願者ハ其願書ヲ一月三十日迄ニ本籍ノ島司郡市長(東京京都大阪ノ三市及北海道ノ區ニ在テハ區長以下同シ)ヲ經テ居住地所管ノ師團長ニ差出スヘシ但徵兵令第十三條ノ學校卒業者ハ卒業證書寫及戶主ニアラサルモノハ戶主二十歲未滿者ハ戶主若クハ後見人ノ承認書ヲ添附スルヲ要ス

島司郡市長ハ志願者ノ身元資産並ニ犯罪有無ノ證明書ヲ製シ其願書ニ添附スヘシ

第九條 前條ノ志願者ニシテ一月三十日迄ニ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業セサル者ハ其年十月三十一日迄ニ卒業スヘキ者ニ限リ學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證書寫ニ換フルヲ得但卒業ノ上ハ直ニ卒業證書寫ヲ添ヘ師團長ニ届出ヘシ

第十條 師團長ハ第八條ノ志願者中學術試験ヲ受クヘキ者ノ人名書ニ通テ製シ其ノ一通ヲ監軍ニ呈シ一通ヲ身體検査ヲ爲サシムヘキ軍醫ニ下付スルモノトス

第十一條 一年志願兵ノ學術試験格例ハ毎年監軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十二條 師團長ハ學術試験ヲ受クヘキ者ノ身體検査時日ヲ定メ府縣知事ニ通達シ本人ヲ検査地ニ召集ス

第十三條 師團長ハ軍醫ヲシテ學術試験ヲ受クヘキ者ノ身體検査ヲ爲サシメ其合格者ハ陸軍將校生徒試験臨時委員ヲシテ學術試験ヲ行ハシム

第十四條 師團長ハ試験ノ成績ニ據リ及第落第ヲ定メ及第者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付與シ落第者ニハ其旨ヲ通知スヘシ

第八條但書ノ卒業者及第九條ニ當ル者ハ通常ノ徵兵ト同時ニ身體検査ヲ爲シ合格者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付與シ不合格者ニハ其旨ヲ通知スヘシ但第九條ニ當ル者ノ認定證書ハ同條但書ノ届出ヲ爲シタルトキ之ヲ付與スルモノトス

第十四條ニ當ル者ハ認定證書ノ外別ニ官費服役證書ヲ付與スヘシ

第十五條 一年志願兵ノ入隊期日ハ毎年十二月一日トス

第十六條 一年志願兵認定證書ヲ受ケタル者ハ入隊スヘキ年ノ十一月三十日迄ニ第二條若クハ第四條ノ金額ヲ所屬隊ニ納付スヘシ但入隊前外泊ノ許可ヲ受ケタル者ハ第二條ノ糧食費ヲ控除シ納付スヘシ

第十七條 一年志願兵ノ教育ニ關シテハ聯隊長其責ニ任スルモノトス

第十八條 一年志願兵中勤務熟達品行方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘキ材幹アル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇月ノ後一等卒ヲ命シ通常教育ノ外特別ニ教育ヲ授ケ更ニ二箇月ノ後上等兵ト爲シ下士ノ勤務ヲ爲サシメ更ニ三箇月ノ後二等軍曹ノ階級ニ進メ諸勤務ヲ練習セシム

其服役滿期ニ際シテハ聯隊長終末試験委員ヲシテ終末試験ヲ爲サシメ其成績ヲ具シ師

團長(歩兵ニ在テハ師團長ヲ經テ)ノ認可ヲ受ケ及第者ニハ終末試験及第證書ヲ授與シ一等軍曹ニ其落第者ハ二等軍曹ニ任シ豫備役ニ編入ス

第十九條 前條及第二十二條ノ選ニ當ラサル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ六箇月ノ後一等卒ヲ命シ更ニ三箇月ノ後上等兵ト爲シ通常教育ノ外下士タルノ教育ヲ授ケ服役滿期ノ際其成績優等ノ者ハ師團長ノ認可ヲ受ケ下士適任證書ヲ付與シ若クハ之ヲ付與セスシテ豫備役ニ編入ス

第二十條 第十八條及第二十二條ニ當ル者ニシテ疾病其他ノ事故ニ由リ豫備士官ト爲スノ見込ナキニ至リタルトキハ第十九條ノ例ニ準シ取扱フモノトス

第二十一條 醫學、藥學、理財學若クハ商業學ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ步兵隊(理財學商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ師團司令部所在地ノ步兵隊ニ限ル)獸醫學ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ騎兵隊、野戰砲兵隊又ハ輜重兵ニ於テ前半年間隊列勤務ヲ爲シ後半年ノ初ニ於テ軍醫生、藥劑生、獸醫生又ハ軍吏生ト爲リ隊列勤務ヲ練習スルコトヲ得志願ノ者ハ入隊ノ際其卒業證書寫ヲ添ヘ出願スヘシ

前項ノ獸醫生タラントスル者ハ第二條ノ馬匹ニ關スル納金ヲ要セス

第二十二條 前條ノ志願者中勤務勉勵品行方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘキ志操アル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇月ノ後一等卒ヲ命シ更ニ二箇月ノ後上等兵ヲ命スヘシ之ニ軍醫生、藥劑生、獸醫生、軍吏生ヲ命スルニハ師團監督部長若クハ軍醫部長、獸醫部長ヨリ師團長ノ認可ヲ受ケルモノトス但軍吏生ト爲シタル者ハ下士ノ勤務ヲ爲サシメ上等

兵ヲ命シタルトキヨリ更ニ三箇月ノ後三等書記ノ階級ニ進ムヘシ

第二十三條 軍醫生ノ教育ハ該隊上級醫官、藥劑生ノ教育ハ衛戍病院長、獸醫生ノ教育ハ該隊上級ノ獸醫官、軍吏生ノ教育ハ師團監督部長各其責ニ任スルモノトス

第二十四條 軍醫生、藥劑生、獸醫生ハ曹長同等ノ取扱ヲ受クルモノトス

第二十五條 軍醫生、藥劑生、獸醫生及軍吏生ト爲シタル者ハ服役満期ノ際師團監督部長、軍醫部長若クハ獸醫部長終末試験委員ヲシテ終末試験ヲ爲サシメ其及第者ニハ(軍醫部長、獸醫部長ハ其成績ヲ具シ師團長ノ認可ヲ受ケ)終末試験及第證書ヲ授與シ軍吏生ニ在テハ二等書記ニ任シ豫備役ニ編入ス

其落第者ニ在テハ軍醫生ハ看護長適任證書、藥劑生ハ調劑手適任證書、獸醫生ハ蹄鐵工下長適任證書、軍吏生ハ軍吏部下士適任證書ヲ付與シ豫備役ニ編入ス

二等書記ノ任官及適任證書ノ付與ハ軍醫生、藥劑生ニ在テハ軍醫部長ヨリ陸軍省醫務局長、獸醫生ニ在テハ當該隊長ヨリ師團長軍吏生ニ在テハ監督部長ヨリ陸軍省經理局長ノ認可ヲ受クルモノトス

第二十六條 師團長及師團監督部長ハ毎一年志願兵ノ終末試験格例ヲ定メ豫メ之ヲ告送ス

第二十七條 終末試験委員ハ聯隊長、監督部長之ヲ編成ス

軍醫生、藥劑生、獸醫生ノ終末試験委員ハ師團長之ヲ編成シ軍醫部長及獸醫部長ノ指揮ニ屬ス

第二十八條 第十八條及第二十二條ニ依リ上等兵ト爲シタル者ハ成ルヘク兵卒ト居室ヲ異ニシ將校ト共ニ會食セシムヘシ

第二十九條 一年志願兵ノ服制ハ別ニ定ムルモノノ外其階級ニ應シ各兵科ノ下士兵卒ト同一トス

但軍醫生、藥劑生、獸醫生ハ該隊曹長軍吏生ニシテ三等書記ノ階級ニ進メタル者ハ該隊二等軍曹ト同一トス

軍醫生藥劑生獸醫生軍吏生ハ之ヲ命シタル日ヨリ襟ニ特別ノ徽章ヲ附ス

第三十條 戦時若クハ事變ニ際シテハ一年志願兵ト雖モ通常ノ現役勤務ニ服セシムルコトアルヘシ

第三十一條 一年志願兵入隊前禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ死亡シタルトキハ其親族ヨリ師團長ニ届出ヘシ

第三十二條 一年志願兵認定證書ヲ所持スル者疾病其他止ヲ得サル事故ニ由リ十二月一日ニ入隊シ難キトキハ證明書類ヲ添へ入隊延期ヲ師團長ニ出願スヘシ

前項ノ事故アル者十二月三十日ヲ過ルモ入隊シ難シト認ムルトキハ師團長之ヲ次年廻シト爲シ聯隊長及本人ニ通知スヘシ

第三十三條 一年志願兵入隊シタルトキ若クハ次年廻シト爲リタルトキハ本籍所管聯隊區徴兵官又ハ警備隊徴兵官ニ届出ヘシ

第三十四條 一年志願兵認定證書ヲ得タル者正當ノ事由ナクシテ其年十二月一日ニ入隊

セサルトキハ一年志願兵タルノ資格ヲ失フモノトス

第三十五條 一年志願兵中左ノ事項ニ當ル者ハ現役ヲ免シ第二國民兵役ニ服セシム但傷
痕若クハ族病ニ由リ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

- 一 傷痕若クハ疾病ニ由リ服役ニ堪難キトキ
- 二 本人ヲ要スルニ非サレハ家族自活シ能ハサル事故ヲ生シ其ノ家族ヨリ免役ヲ願出
タルトキ

第三十六條 前條ノ家族自活シ能ハサル事故ニ由リ免役ヲ願出テントスル者ハ其ノ願書
ニ近隣ノ戸主二名ノ保證書ヲ添ヘ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ
差出スヘシ但町村ニ於テハ町村長(町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戸長又ハ之ニ準
スヘキ者)ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令
官ニ送付シ同官ハ之ニ意見ヲ附シ願書ト共ニ聯隊長ニ移スヘシ

第三十七條 第三十五條ニ當ル者アルトキハ聯隊長ハ師團長ノ認可ヲ受ケ之レヲ處分
ス

附則

第三十八條 明治二十七年以前一年志願兵トシテ服役シタル者ノ豫備役後備役年期ハ第
七條ニ依ル但明治二十四年以前一年志願兵トシテ服役シタル者ノ後備役年期ハ豫備役
年期ヲ通シテ十一箇年四箇月トス

● 試補及判任官見習並非職休職ノ官吏一年志願兵服役方

(明治二十三年三月勅令第六十二號)

朕試補及判任官見習並非職休職ノ官吏ニシテ一年志願兵トナル者服役ノ件ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

試補及判任官見習並非職休職ノ官吏ニシテ一年志願兵トナル者ハ其儘服役スルコトヲ得
但有給者ニハ俸給ヲ給セス試補及判任官見習ニ在テハ服役時日ヲ實務練習ノ期限ニ算
入セス

● 陸軍一年志願兵條例施行細則(明治二十六年七月陸軍省令第十號)

陸軍一年志願兵條例施行細則左ノ通改正ス

陸軍一年志願兵條例施行細則

- 第一條 條例第二條ノ所屬隊ヨリ給スル被服裝具ノ現品左ノ如シ
- 一 第一種帽前立共
- 二 第二種帽
- 三 第一種衣袴
- 四 第二種衣袴
- 五 夏衣袴二著
- 六 日覆
- 七 外套

八 脚絆

九 第一種手勝

十 背囊

十一 被服手入具

十二 飯盒

十三 水筒

十四 寢具

第二條 糧食費自辨ノ者ハ行軍若クハ野外演習中ノ糧食費亦自辨トス

第三條 條列第八條ノ願書ハ附錄第一第二様式ニ承認書ハ第三様式ニ證明書ハ第四様式ニ依リ之ヲ作ル可シ

第四條 條列第十三條ノ身體検査終レハ軍醫ハ其成績ヲ陸軍將校生徒試験臨時委員ニ通知シ條列第十條ノ人名書ニ不參其他ノ事由ヲ記註シ體格検査表ヲ添ヘ師團長ニ報告シ師團長ハ其ノ身體検査ニ不合格ノ者(二十歳未滿ノ者ヲ除ク)ノ體格検査表ヲ本籍地ノ聯隊區徵兵署ニ送付スヘシ

第五條 條列第十四條第二項ニ依リ身體検査ヲ爲ス可キ者ノ人名ハ師團長ヨリ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ達シ同官之ヲ島司郡市長ニ通達シ島司郡市長ハ検査ノ時日及場所ヲ告示ス可シ

事故アリテ指定ノ徵兵署ニ出シ難キ者ハ願ニ依リ他ノ徵兵署ニ於テ身體検査ヲ受クル

コトヲ得

前項ノ出願者アルトキハ甲乙聯隊區司令官又ハ警備隊司令官協議ノ上検査時日及場所ヲ定メ本人ニ達ス可シ

第六條 前條ノ身體検査終ル後聯隊區司令官又ハ警備隊司令官其人名書ニ不參其他ノ事由ヲ記註シ體格検査表ヲ添ヘ師團長ニ報告スヘシ

師團長ハ其身體検査ニ不合格ノ者(二十歳未滿ノ者ヲ除ク)ノ體格検査表ヲ本籍地ノ聯隊區徵兵署ニ送付ス可シ

第七條 第四條及第六條ノ身體検査不合格ノ者ハ聯隊區徵兵署又ハ警備隊徵兵署徵集免除又ハ兵役免除ノ處分ヲ爲シ其一時徵集ニ適セサル者ハ徵集延期ノ處分ヲ爲スヘシ

第八條 師團長ハ條列第十三條及第十四條第二項ノ検査ニ不參セル者並學術試験ニ落第セシ者(二十歳未滿ノ者ヲ除ク)ヲ本籍地ノ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ通知ス可シ

第九條 條列第十四條ノ一年志願兵認定證書ハ附錄第二様式ニ官費服役證書ハ第六様式ニ依リ作ル可シ但條列第六條第二項ニ依リ次年廻シト爲ス可キ者ハ官費服役證書ノ餘白ニ其旨ヲ記載ス

第十條 師團長ハ同兵種二隊以上アル衛戍地ニ服役セントスル者ノ隊籍ヲ定ムルニハ成ル可ク之ヲ各隊ニ平均ス可シ

官費服役者中醫學、藥學、理財學若クハ商業學卒業證書ヲ所持スルハ步兵隊(理財學、商

業畢卒業證書ヲ所持スル者ハ師團司令部所在地歩兵隊ニ限ルニ獸醫學卒業證書ヲ所持スル者ハ騎兵隊、野戰砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ配付ス可シ

第十一條 師團長ハ一年志願兵認定証書ヲ付與シタル者ハ自費服役、官費服役、次年廻シ等ニ區別シ其人名書ニ體格検査表ヲ添ヘ當該聯隊長（聯隊ヲ爲ササル隊ニ在テハ該隊長以下同シ）ニ下付スヘシ

第十二條 聯隊長ハ前條ノ一年志願兵ニシテ十二月一日ニ入隊セサル者アルトキハ其人名ヲ師團長ニ報告ス可シ但二十錢以上ノ者ニ在テハ尙本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ通知スヘシ

第十三條 條例第三十一條第三十二條第二項第三十四條及入隊前第三十五條ニ當ル者アルトキハ師團長之ヲ聯隊長ニ達スヘシ但二十錢以上ノ者ニ在テハ尙本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ通知スヘシ

前項ノ者官費服役者ナルトキハ條例第六條第二項ニ依リ次年廻シト爲シタル者ヲ繰上ケ十二月三十一日迄ニ入隊セシムルコトヲ得

第十四條 一年志願兵徵募事務終結後師團長ハ附錄第七様式ニ依リ一年志願兵人員表ヲ作り翌年一月十五日迄ニ陸軍大臣ニ報告ス可シ

第十五條 條例第二十一條ニ依リ軍醫生、藥劑生、獸醫生及軍吏生ヲ志願スル者アルトキハ聯隊長其願書及卒業證書寫ヲ師團監督部長若クハ軍醫部長若クハ獸醫部長ニ送附シ監督部長、軍醫部長、獸醫部長ヨリ師團長ノ認可ヲ受ケ後半年初ニ於テ聯隊長ヲ經由

シ之ヲ命スルモノトス

藥劑生ハ衛戍病院ニ軍吏生ハ師團監督部ニ派遣シ勤務ヲ練習セシムルモノトス

第十六條 軍醫生、藥劑生、軍吏生ト爲シタル者ハ貸與セシ兵器ヲ返納セシメ更ニ徒歩刀ヲ給ス獸醫生ト爲シタル者ハ軍刀或ハ砲兵刀ヲ除クノ外兵器ヲ返納セシム

第十七條 師團長ハ一年志願兵終末試験終リタルトキ附錄第八様式ニ依リ成績表ヲ作り陸軍大臣ニ報告ス可シ

第十八條 一年志願兵終末試験及第證書ハ附錄第九様式ニ依リ各部各隊ニ於テ製ス可シ

第十九條 一年志願兵入隊前轉住其他止ヲ得サル事故ニ依リ隊籍變更ヲ願出ル者アルトキハ師團長之ヲ許可スルコトヲ得但所轄外ニ係ルモノハ豫メ當該師團長ト協議スルヲ要ス

第二十條 一年志願兵現役ヲ免シ若クハ死亡シタルトキハ實費ヲ精算シ殘金アレハ之ヲ返附ス

●陸軍志願兵身體検査規則 (明治二十五年三月陸達第二十三號)

明治二十二年三月陸達第三十九號陸軍志願兵身體検査規則左ノ通改正ス

陸軍志願兵身體検査規則
第一條 陸軍志願兵（徵兵事務條例施行細則第八條ニ當ル者ヲ除ク）身體検査ハ其身材ノ合格ト不合格トヲ判別スルモノトス而シテ此検査ハ學術上諸種ノ方法ヲ施スコトヲ得此規則ハ陸軍士官候補生並陸軍諸生徒志願者ノ身體検査ニ適用ス

第二條 志願者一日ノ検査人員ハ醫官一名ニ付概テ四十名トス

第三條 志願者ノ身長ヲ定ムルコト左ノ如シ但別ニ規定スル所アルモノハ此限ニ非ス

滿十五歲以上 四尺七寸以上

滿十六歲以上 四尺八寸以上

滿十七歲以上 四尺九寸以上

滿十八歲以上 五尺 以上

第四條 體格ヲ區別スルコト左ノ如シ

一 合格 徵兵検査規則第三條ノ甲種乙種等ニ該當スルモノ(身長ノ制限ハ本條第

三條ニ依ル但屯田兵志願者ニ在テハ甲種乙種等ノ位ヲ附スヘシ)

二 不合格 前項ニ該當セサルモノ

第五條 近視ノモノハ合格トナスコトヲ得ス但各兵科士官候補生志願者ニ在テハ二十尺

ノ距離ニ於テ眼鏡ヲ用ヒス斯混兒連氏視力表ノ三十號ヲ視得ルモノ一年志願兵志願者

ニ在テハ同百號ヲ視得ルモノヲ探ルコトヲ得但生部士官候補生志願者ニ在テハ最高度

ノモノヲ探ルモ妨ナシ

第六條 一年志願兵志願者ニ限リ第四條ノ不合格中(二十歲未滿ノ者ヲ除ク)徵兵検査規

則第三條ノ丙種若クハ丁種若クハ戊種ニ當ルヘキモノナルコトヲ區別スヘシ

第七條 醫官ハ検査結了後一週日以内ニ體格表(第一式)ヲ調製シテ所管軍醫長ニ報告シ

軍醫長ハ之ヲ陸軍省醫務局長ニ呈スヘシ

第八條 士官候補生並諸生徒志願者ノ體格検査表(第二式)ハ検査結了後士官候補生並諸

生徒ノ屬スヘキ隊部ニ(各兵科士官候補生及幼年學校生徒志願者ノ検査表ハ師團司令

部、教導團生徒志願者ノ検査表ハ大隊區司令部ヲ經テ)送附スヘシ

(第一式第二式共之ヲ略ス)

●海軍志願兵徵募規則 (明治二十二年五月勅令第六十八號)

朕海軍志願兵徵募規則ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

海軍志願兵徵募規則

第一條 海軍兵役ヲ志願スル者ハ本則ニ依リ服役セシム

第二條 志願兵ノ職名ハ左ノ如シ

水兵、軍樂生、水雷夫、火夫、工夫、木工、鍛冶、看病夫、厨夫、

信號兵ハ所要ニ應シ水兵中ヨリ適當ノ者ヲ選ミ轉職セシム其ノ轉職ニ關スル規程ハ海

軍大臣之ヲ定ム

第三條 志願ニ徵募スルトキノ年齡定限ハ左ノ如シ

一 水兵、火夫ハ滿十七年以上二十一年未滿

二 木工、鍛冶、看病夫、厨夫ハ滿十七年以上二十六年未滿

三 水雷夫、工夫ハ滿十七年以上三十二年未滿

四 軍生ハ滿十四年以上十七年未滿

第四條 左ニ掲グル者ハ志願兵タルコトヲ許サス

- 一 陸軍ノ豫備役後備役ニ在ル者
 - 二 徵兵令第二十八條ニ當ル者
 - 三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者
 - 四 刑事被告人トナリ裁判未決ノ者
 - 五 身代限りノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサル者
- 第五條 志願兵ノ服役ヲ分チ現役及豫備役トス
現役ハ八箇年ニシテ入營ノ日ヨリ之ニ服シ豫備役ハ四箇年ニシテ現役ヲ終リタル日ヨリ之ニ服ス
- 水雷夫ハ前項ニ依ラス十二箇年間現役ニ服セシメ豫備役ニ服セシメス但第一年ニ於テ六箇月以内第二年ヨリ十一箇年間ハ毎年二箇月以内在營セシメ其餘ノ時日ハ歸休セシム
- 第六條 服役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレ又ハ逃亡若クハ失踪シタル者、其ノ刑期中及逃亡失踪中ノ日數ハ服役年數ニ算入セス
- 第七條 服役期限既ニ滿ルト雖戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習ノ舉アルトキ若クハ航海中ハ其期限ヲ延スコトアル可シ
- 第八條 豫備兵ハ戰時或ハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルトキ之ヲ召集ス平時ニ在テハ演習ノ爲メ召集スルコトアル可シ但餘人ヲ以テ代フ可ラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長助役及收入役ハ召集スルコトナシ

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

- 第九條 服役中ハ免役ヲ願フコトヲ許サス但現役中疾病若クハ傷痍ニ依リ現役ニ堪ヘ難キ者ハ其役ヲ免シ現役ヲ通シテ滿十二箇年ニ至ルマテ豫備役ニ服セシム其永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス
- 第十條 水雷夫、工夫ヲ除クノ外志願兵ノ現役中ハ家族アル者ニ限り其扶助金トシテ一日金貳錢七厘ヲ給ス
- 第十一條 志願兵徵募ノ爲メ別表ノ如ク海軍志願兵徵募區ヲ定メ鎮守府ヲシテ之ヲ管セシム
- 第十二條 志願兵徵募ノ人員ハ毎年海軍大臣之ヲ定メ各徵募區ニ配當シ鎮守府ヲシテ徵募セシム
- 但一ノ徵募區ニ於テ所要人員ヲ充ス能ハサルトキハ他ノ徵募區ヨリ不足ヲ補充スルコトヲ得

附 則

- 第十三條 舊規則ニ依リ徵募セタル者ノ服役年數ハ舊規則ニ依ル
- 第十四條 舊規則ニ依リ一箇月金壹圓七拾五錢ノ家族扶助金ヲ給スル者ニハ本年十月以後其現役滿期マテ一日金五錢七厘ノ家族扶助ヲ給ス

(別表ハ之ヲ略ス)
海軍志願兵徵募細則
 (明治二十二年六月海軍省令第八號)

海軍志願兵徵募細則左ノ通定ム

海軍志願兵徵募細則

第一條 海軍志願兵ヲ志願スル者ハ本則ニ依リ徵募ス但軍樂生ハ横須賀鎮守府ニ於テ徵募シ「水雷夫」ハ別ニ定ムル規則ニ依リ徵募ス

第二條 志願兵徵募ノ數額ハ前年十二月ニ於テ告示ス

第三條 前條ノ告示アリタルトキハ地方長官ハ徵募ノ年ニ於テ海軍志願兵徵募規則第三條ノ年齢ニ適スル者ヲシテ出願セシメ島司郡市長ヲシテ之ヲ調査セシメ島郡市及兵種ヲ區別シ志願人員表ヲ作り十二月十日迄ニ之ヲ海軍志願兵徵募區ヲ管スル鎮守府司令長官ニ移牒ス可シ

鎮守府司令長官ハ地方長官ヨリ志願人員表ヲ受ケタルトキハ其寫ヲ海軍省ニ送付スヘシ

島司郡市長ハ志願人ヲ調査スルニ當リ海軍志願兵徵募規則第四條ニ觸ルル者ナキヤ否

ヤヲ審査ス可シ

第四條 (削除)

第五條 鎮守府司令長官ハ三月一日後左ノ諸官ヲ派出シ志願人ヲ調査セシム

海兵團徵募官

軍醫官

徵募官ニハ主帳ヲ附シ軍醫官ニハ看護手ヲ附ス

第六條 地方長官ハ徵募官ノ巡廻ニ先タテ海軍兵役志願人検査所ヲ設ケ島司郡市長ニ達シ検査ノ準備ヲ爲サシム可シ

第七條 地方長官島司郡市長ハ徵募官ノ巡廻ニ際シ屬書記ヲ派出シ徵募ノ事務ヲ補助セシム可シ

第八條 海軍兵役志願人検査所ハ一地方廳管轄地ノ廣狹及志願人ノ多少ニ依リ検査ニ便ナル場所ヲ選ミ概テ一郡市ニ一箇所ヲ設ク可シ

志願人十名ニ滿タサル郡市及一地方管轄地ヲ通シ十名ニ滿タサル地方ニ在テハ検査所ヲ設ケス便宜ノ検査所ニ集メ検査ヲ施行ス但地形ニ依リ召集ニ便ナラサルトキハ地方長官ハ鎮守府司令長官ノ承認ヲ得テニ検査所ヲ設クルコトヲ得

第九條 徵募官ハ地方長官ニ協議シ検査所巡廻日割及毎日検査ヲ行フ可キ人員ヲ定メ島司郡市長ニ通知シ島司郡市長ハ検査ノ日時及集合スヘキ検査所ヲ豫メ志願人ニ達ス可シ

第十條 島司郡市長ハ徵募官ノ巡廻日割ニ依リ志願人ノ検査ヲ受クヘキ日限及順序ヲ定メ志願人ニ告知シ其當日ニ至レハ市町村吏員ヲシテ志願人ヲ引纏メ検査所ニ出頭セシム可シ

検査呼出ニ際シ疾病又ハ事故ニ依リ出頭シ難キ者アルモ之カ爲ニ日時ヲ遷延シ更ニ検査所ヲ開クコトナシ但甲地志願人乙地検査所ニ至リ検査ヲ願フ者ハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十一條 徵募官軍醫官ハ検査ニ於テ志願人ノ身體ヲ検査シ合格不合格ヲ定ム可シ
第十二條 志願人身幹左ノ定尺ニ達シ身體完全強健精神異狀ナキ者ヲ身體検査合格トシ
否ラサルヲ不合格トス

一 水兵、火夫、看病夫志願者ニ在テハ五尺二寸
二 軍樂生志願者ハ齒列齊正ニシテ十五年以上ニ在テハ五尺十五年未滿ニ在テハ四尺八寸

三 木工、鍛冶、厨夫志願者ニ在テハ五尺
四 (删除ス)

第十三條 志願人ノ身體検査合格者ヲ甲乙ノ二種ニ分テ先ツ甲種合格者ヲ採用シ次ニ乙種合格者ニ及ホスモノトス

第十四條 木工、鍛冶志願ノ者ハ一箇年以上該職業ニ服セシ者ニ限り採用ス其證明書ハ市町村長ヨリ巡廻ノ徵募官ニ出ス可シ

第十五條 軍樂生、看病夫、厨夫志願ノ者ハ身體検査ニ合格スト雖モ讀書、作文、算術ノ試験ニ合格セサルハ採用セス

第十六條 身體ノ検査及讀書作文算術ノ試験ニ合格スト雖モ他ノ原因ニ依リ徵募官ニ於テ海軍兵ニ適セサル者ト認ムルトキハ採用セサルコトアルヘシ

第十七條 検査合格ノ者ニハ一地方ノ検査了リタル後徵募官ヨリ島司郡市長ヲ經テ合格

證書ヲ附與ス

合格證書ヲ附與セラレタル者採用以前ニ在テ轉籍、死亡、逃亡、公權停止、廢疾不具等身上ニ異動ヲ生シタルアルトキハ島司郡市長ハ地方廳ヲ經由シ速ニ其人名及異動ノ事項(轉籍者ハ其轉籍地ヲ詳記スヘシ)ヲ當該鎮守府海兵團長ニ通知スヘシ但轉籍者ニ在テハ同時ニ其旨ヲ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ

鎮守府海兵團長他鎮守徵募區ニ轉籍セシ者ノ通知ヲ受ケタルトキハ徵募官ヲシテ其兵種及検査成績ヲ轉籍地ノ海兵團徵募區ニ通知セシムヘシ

第十八條 徵募官ハ徵募區内各府縣志願人ノ検査了ルトキハ前條ノ異動人員ヲ加除シ志願兵検査人總員表ヲ作り海兵團長ヲ經由シ鎮守府司令長官ニ進達スヘシ

第十九條 鎮守府司令長官ハ合格者ノ數ヲ率トシ比例ヲ以テ採用スヘキ人員ヲ各地方ニ配當シ海兵團長ヲシテ採用證書ヲ地方長官ニ送付シ且入營期日ヲ通知セシムヘシ

但所管徵募區ニ於テ合格者ノ數所要ノ兵員ニ充タサルトキハ他鎮守府長官ニ協議シ海兵團長ヲシテ爲サシムルモノトス

鎮守府司令長官ハ前項ノ配當人員表ヲ作り第十八條ノ志願兵検査總人員表ト共ニ海軍省ニ送付スヘシ

第二十條 地方長官採用證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ島司郡市長ヲシテ之ヲ各自ニ附與

シ誓約書ヲ出サシムヘシ

第二十一條 地方長官前條ノ手續ヲ了リタルトキハ徵募兵員ヲ便宜ノ場所ニ集メ屬官又

ハ郡市町村吏員ヲ附シ入營地ニ至ル期日ヲ計リ出發セシムヘシ但五人未滿ナルトキハ單行セシムルコトヲ得

第二十二條 兵員入營ニ際シ疾病又ハ事故ニ依リ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ海兵團長ニ於テ二十日以内ノ延期ヲ許ス可シ

第二十二條乙 兵員入營スルトキハ直ニ身體検査ヲ施行ス此検査ニ於テ到底海軍兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ之カ採用ヲ取消シ旅費ヲ給メ歸郷セシメ海兵團長ヨリ採用取消書ヲ地方長官ニ送付シ之ト同時ニ本人ノ戶籍明細書及誓約書ヲ市町村長ニ返付スヘシ前項ノ場合ニ於テハ更ニ補缺員ヲ同府縣内同兵種ノ合格者ヨリ徵募スルモノトス但同府縣内ニ於テ徵募スルコト能ハサルトキハ同鎮守府徵募區内ヨリ補ヒ同鎮守府徵募區内ヨリ補フコト能ハサルトキハ他鎮守府司令長官ヘ協議シ其ノ徵募區内ヨリ補フコトヲ得

補缺徵募兵員ノ採用證書送付方及入營期日ノ其通知他ノ手續ハ一般ノ徵募兵員ニ準ス

第二十三條 地方長官ハ市町村長ヲシテ採用セラレタル者ノ戶籍明細書ヲ作ラシメ第二十條ノ誓約書ト共ニ海兵團長ニ送付スヘシ

第二十四條 附添人旅費並ニ徵募兵員各自居住ノ地ヨリ入營迄ノ旅費ハ一般徵兵ノ定期ニ依リ官給ス但検査所ヘ往復ノ費用並ニ検査ヲ受クル爲メ滞在ノ費用ハ自辨トス

第二十五條 本規則中市長ノ職務ハ東京市京都市大阪市ニ在テハ區長若クハ區書記之ヲ掌ル可シ

第二十六條 志願人員表合格證書採用證書誓約書及戶籍明細書採用取消様式ハ左ノ如ク

明治三十一年五月廿五日印刷
明治三十一年六月廿四日發行

定價廿五錢

發行者

木田吉太郎

東京市日本橋區新四丁目四番地

印刷者

瀧川民治郎

東京市日本橋區新和泉町一番地

發行所

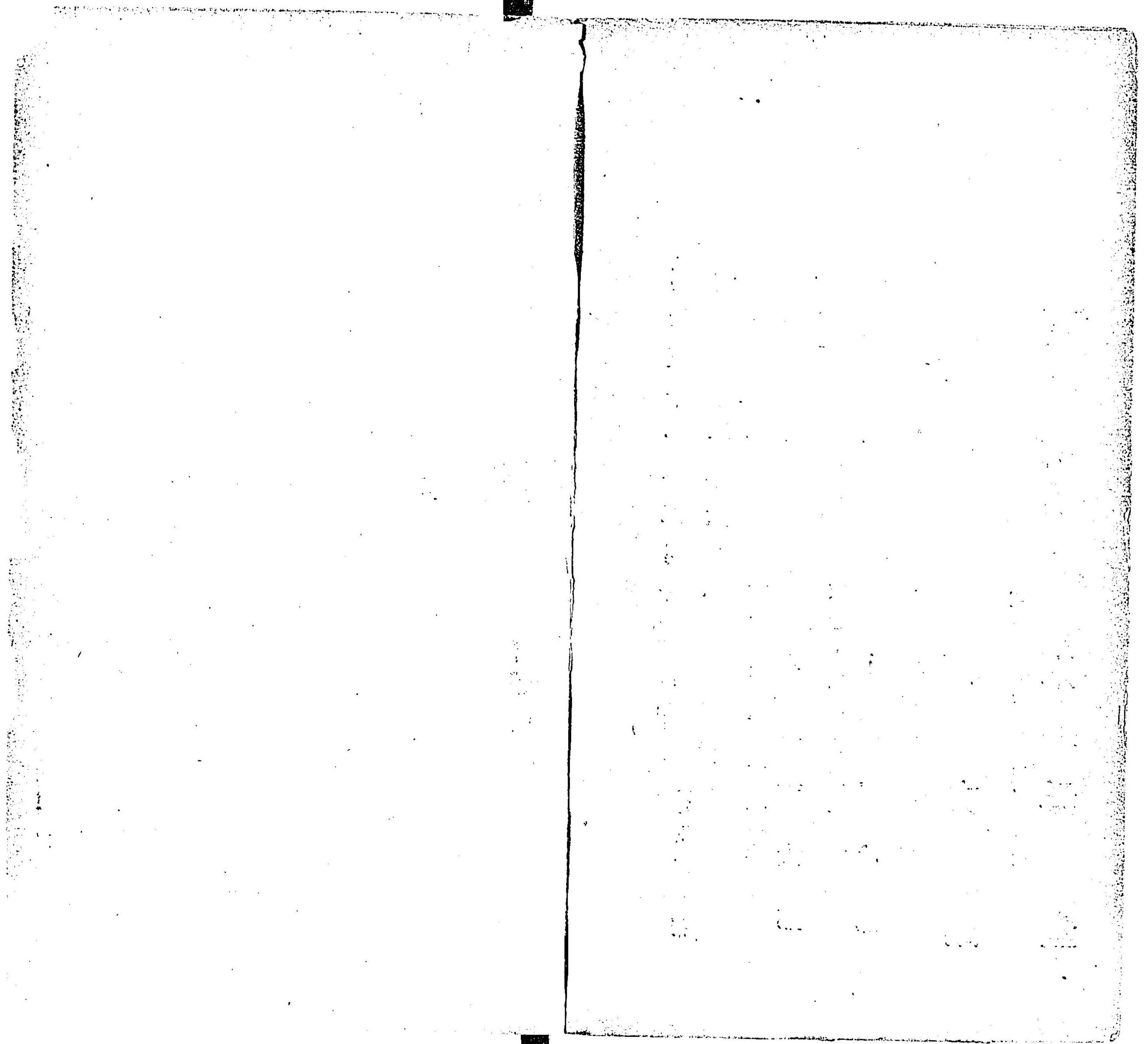
集文館

東京市日本橋區新右衛門町十三番地

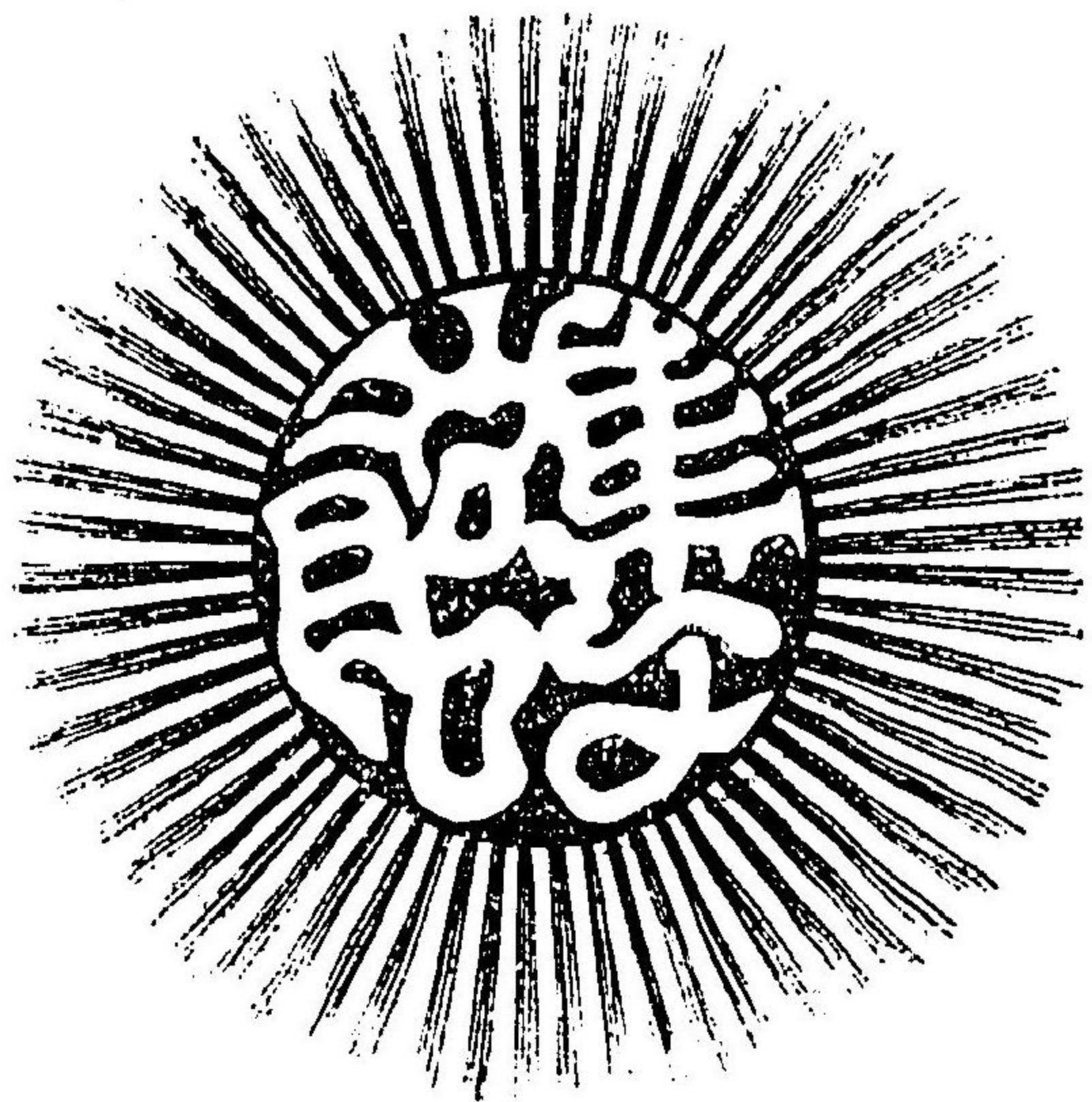
賣捌所

東雲堂

東京市日本橋區通四丁目七番地



禁電子式複写



法律規則大全

郵便條例
郵便小包法
電信條例
電信交換規則
鐵道
鐵道貨物運送手續
鐵道敷設法
土地收用法
製茶稅則
樟腦油稅則
國民兵召集規則
新聞紙條例
出版權法
集會及政社法令
徵兵事務條例
徵兵檢查規則
國民軍條例
發行

031122-000-8

CZ-5-0119

法律規則大全

集文館

M31

BBC-0945

